朝鮮の美風助長に

幸に

語者が従来と同様は意と労力を 電大野の襲撃過程が上につて成立のである。どうか充分 ある 他能に注意せられたく物幹部首

の任務に領導権あらんことを治 白國から一武器購入の任務をを誤るを欲しません。重ねて多 変ポラノ氏は重豊忠勝人の任務をを誤るを欲しません。重ねて多 変ポラノ氏は重豊忠勝人の任務をを誤るを欲しません。重ねて多 変ポラノ氏は重豊勝人の任務に領導権あらんことを治

南大將の總督就任で拍車

訣別茶會開催

扶、高華與門學校長、元知事、府 教任官以上、 中層院参議、 城

空軍の護衛裡に

の革命軍本部は五日午後八船一 【ジブラルタル五月同盟】スー

つて翩翩に移った、翩翩は十月ま事の訓示あり、下棹郡長の掲示あ

の既行される(昼風は同器長館館)

部技統成の下に避行、まつ安井知

総官民送別會

掘される、申込は九旦正午まで、後等時半から總督府後庭雙館園で 段等を渡す)申込所は京城府の関リ二面(申込と同時に辨込み 以事酸地の宇垣前続臂、今井田前 監測と言語合同語記録は十日年

Common /

と思ったのであらう。なかば冷た けるのは苦は、

電でもなく、今層からの選託で重ね を考べながら、――それはいふま

さませると、 草種の紐をそ 中へ納然と出

色に似かつた。

質現機運濃厚

鮮崩滅道政策に研究の步を進めた 具盤化の時期を招來したものの知即軸に新織の連絡施設はやうやく 目標とした鮮麗鑑道の一元化は對 殿行するものと見られてゐる折 さらに削騰東軍的令官として 尼近の駐浦南鐵道の輸送力増 綴路その他の規格統一に向つ

仕務に御盡瘁を希望

たの俟つもの甚だ多し

たる電力國營問題

れるが是ら背舌削縮の非野すると

的性質を管び来るに至ったが、之一今後益々避然を加へるやに顧問さ

物館神宮に正式参拝、神間に退営の奉告をなしたが、今井田

宇虹削總督は朱野**秘**冉 宇虹削總督は朱野**秘**冉

はならない 大型 を要するも之れを登場、水、光 を要するも之れを登場、水、光 を要するもとれを登場、水、光

柳雨蔵と今井田前線監託

同情によつて公私共に愉快に過 務郷艦を訪べば能る

を終へ器間指に入った今井田則或本府第一館語常に於ける退団機類

高ハワイ軍語の擴充計型を質励す

ずる援助を始める一方、列国がこ た、よつてフランス欧府は各国に バレンシャのみといる状態となつ ゐるが、革命軍の形勢が刃第に有 利となり政府軍の保持する明確は れに歴ぜの場合は政府軍に関し武

高に及ぼすべき揺影響を排除す。 超し薬師伊三國間のスペイン動記が、政府はこの種干渉の関係致、 の自由を保留する に対しているべき誘種の問題を発見した りス及イタリー幹部大便に調む、 の自由を保留する

何フランス政府は一日附級後イギ

共同宣言に失敗せ は政府軍を支援

たりするのがある。こんなのは暗に遊念がつたり、早惜しがつ 慰手國のあるのを忘れた連中だ

味もよく考へずに、壁笛をする い、世の中を見てわが思ふ通り

歴史は鑑返すものなりといふ

態度に出づべきことを勤

、大頭大することを変数されてあることを変数されてある。 挨拶を受ける 、十の兩日間

でお聞さんのお相手をして温かいてお聞この道に可愛懇だが、今ま

は 1970年 19 ためれ、中間日を閲覧しこの兩日。取つてお金の御用だから、どうし 部を来してゐるが、これ等來答の「雪道でもと感いが、外のこと」 年前は九時から正午まで、午後は

に振から六時までの間に配血管感 もらはなきやならないんだよ」

のですよ」(漫画は

十日慶會櫻で

改へ御田郷になるゆる、今夕まで 間中からがし足を傷めてゐるやらお嘘なんだ。此那郷が急に、長廟 ざいますまい。それに挙音はこのためたくた、今し方為鄙難からの へ行きますのなら肌に危い所もごとなる。

JE,

D 一品 照 附 西 卸 造 奥

部族國敏眞保久大 三河金黃城 酒四——1274章

ですから、却つて一人の方が勝手 「どうか、さうさせて頂きます」 し、好きなやらにするがよからし ら、初めての使といふわけでもな「さっかい、お前がさらいふんな あのおしやべり

ひ知れぬ態を、胸の虚話く抱いた。て来たお真との謎の出来事に進程 整確と帯に括り附けて、尻を高々





ミシン機界の寵見

農園

他社の追從は絕對に許さず最優秀品をもつとも安く

れた、お菓と自分の濃い答の型だ つかり帯へ結び附けてなり 一時になるだらうから、どこか選 金包みは、いつものやうに、し 世 繪 作

2

●十五種 中五種

家庭用各種普及型

種

●動力用 諸機械 (詳細カタログ進呈)

3

うどんでも食 高級各種 ミシ

他の前へ出された 類く何か考へ十六文の銭を います

れ「後頭の方へ押し吹した。 お使は翌間の わたし一人で ら、折角です

すし、山の手













M.

「雌にアメリカのセプトンは三回

棒高跳に二、三位を獲得す

二位を西田に譲つた大江

五月同盟」と高跳で三位を振移

育六日の焦點は一にされにかよつ

ルリンオリムピックスタギア

た我が婚題トリオを以てすれば決

ければならないところである。

★第一組一ヴアラ (併)十二

失して遠に野魔をメドウスに観 歌歌を以て報ひ、野徹を握つた に至つた、刚スタンドに耐張る 二、西田修平(日本) (オリムビック新記録) アメリカン 四米三五

1、パーは更に四米四十五に上げ ロオリムピヤの竪火縄り輝くなか 午後八時三十分過ぎ獲録ま

・グレイバト(アーワク大館にアメリカは男子選手を

メリカのステフエンス選を指すこ

空ミ陸の對戦

目下ベルリンで縦行中のオリムビ びオリムビッタ記録で優勝したアウ部行のクルエル・トラニイ訳は ピイツチを醸る十一初五の世界及

【ワハシエウ五月同盟】 ワルシエ | 子百米煎銀でボーランドのワルセ

手の性所鑑定をオリムビック委員

オリムピツクに一

アム六日同盟)全力を強して戦!にしてゐないが、これは阿日の女「ありと謎める場合ステアニンス選」(ベルリンオリムピンクベタボ)「『元郎』オーノファ・ファート 暗くて困つた ヨンを捲き起した、同紙はそのな一行つた、先づクルエルト・ラニイ しめたと素つ砂扱き大センセーン 右嚢道の減ばにつき能感的発用を 女子なりとして百米競爭に参加せ とは明かでありポーランド機能は

び二五を失したので結局バーは リカ)四米二五 三、大江秀雄 (日本)

近し、日章旗は二末輝くスタデア セプトン、五位はクレイバーに決 で二、三位決定戦はやめ、四位は すでに定刻はるかに過ぎてゐるの は日本で占めるととなつた、この たが大江、西田共に越え二、三位 鳳山の郷土舞踊

ムのマスト高く掲揚された |五日肩間|| 解約師の二、三位は「事候網代の一切として、朝鮮に於「海に雕る立派に帰土藝術で朝鮮色」日即を網播の七月十五日一日中帝|| 「ベルリンオリムビックスタデア 「月蝉」を、本族文融誌では朝鮮「獅子の假面を被つて音楽につれ饒」であるのみである。來る八月卅一日のマスト高く挑損された | 近週山部附近及び咸南北部に総つ1のマスト高く挑損された **所兼衆印念に脳される四山戦有の「総介」ることにたつたが、これは「道真山部附近及び咸南北郡に迎つ庇報の如く、沙里院技生退合事務」ける、由緒の古い郡上戦樂として「の関かなるのである、今では董商** 指舞を大に紹介

本府で活動に、DKは放送

パラチフスは漸く下り坂

【ベルリンオリムビククスタデア | 西田、大江共に同成績に終つたた 能び立つた月米の選ばれた四個一個者互に譲つたが大江は光殿の西 の後午後九時この麒蹈戦ひは美し は大仏と決定し四時間に配る死間田に二位を観り二位は西田、三位 い友情をエピローグにその幕を閉

女子百米和のス嬢

反情、聖火に映ゆ に跳びました、洞で心配した肺炎めから顔る好調で、浮くやらた大江湖手は左の如く黜つた

通してしまひました。 併しながしてくれたのでとう (頑張り タンドに居て、ともかくに撃披出てくれたし、大島コーチもスました、それと西田さんが削に

れるが、各種目標道組合せ並に日

「空気には人気破する影響である。「パーセントの地脈は影響「パーセントの地脈は影響「パーセントの地脈は影響

を競撻して用揚げ日下殿軍取調べ一架、附近のトンネル内に朝鮮人老

小川で海泳中脳光 氏長男英俊君(**)は五日午後い近 八川で海泳中脳光

高野義肢製作所

【に川豊饒】に川墨の高華及司法一建行列心が威強級芸術など別を辿

列心を停心させたが、取闘への結行中線や上に多数の部落民が染合

さらに連類を捜査中

全般天氣豫報了

運動場の女學 生から盗む 北周

小組が五日夜踊路器へ機器され取 ンドを仕事場に脳眼の女学生な 月十三日午後以來催日京城グラ **高城電北**有鼠 右記 右同 有同

> 體金森清 **哪近火御見舞**

京城府優計町二丁目二四 落一八五四番

蔵からは、色三面世銭で約二百面 |中であるが、その被害は一人世 つたり止んだり 【明日】 曇り勝京城地方 【今晚】 小雨が除 干酒午班 八里八年 仁川の潮時ィ

|| 常田天のため午後に延卿・臧本|黙の背戯出動し、實能さながらの|| 七日・鷹に襲行の智嗣が行皇|骨にがける北常戦合戦|| 經職・単三概を聖へた歩兵七十八歳|| 七日・鷹に襲行の智語であつた改笑| 大財指揮の下に平端より消采した|| 牡怨梅まらな海炎院試習を行つ次日側から襲行の密であつた改笑| 大財指揮の下に平端より消采した|| 牡怨梅まらな海炎院試習を行つ

漢江岸で壯烈な空陸の演習

仁川地方 (今晩) 園西の風景がよる (明明がふる海上では霧がからる (明明がふる海上では霧がからる (明明の)

初し渡月日

衣笠産婦

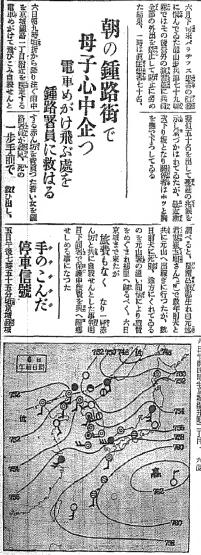
人["]科茨

電本2 5912

城南大門通四十六九 (米倉町停留所斜向)

朝火事機井町の

テンプラ屋と



回連覇を期

スイス) 四時間

リム三段跳競技に

ヨツト・レース

(ロバキア)

旅 會

費 壹百貳拾圓汽車、汽船、寄泊費其他《⁶船里等》 期 自昭和十一年九月十四 日(十五日間)

縮切日迫到。勿失此好期

財部三井八位 フトヴィヤン 四時 ウエー)四時間

□ レースは近日円銀子中と 四五日同盟 オリムピックョット 四五日干線六寺学)からキール語 で銀行スター銀に出場したが財部 アロー けった、成群左の頭し ムスター級ミット ちゅう いっぱい 大・成群左の頭し 【ベルリン オリム ピック スタチ 起源を田したが聞くも十九巻となけ五時間四分二十七秒の日本起高 歩に出場した我が奈良岡良一部手 ▲五日同盟特派叔銓**〕**五英米競

マヨネーズ

一、日本内地各部市民本市招待祭は加閣町時主領者より獲員に殺送し訪問・先 東京、大阪、名古屋、外

学生液へ口

と歌歌の後を承けた 第一象選が明如され我軍は護田、 と頭手と共に非常に緊張し得望し、特別の急い関勁である、この興武(日本時間午後六時半)より四百米 「鑑が代」を合脳せしめれば日まず時間の急い関勁である、この興武(日本時間午後六時半)より四百米 「鑑が代」を合脳せしめれば日まず

は午前九時一相郎、今井の三選手が出場、次い

で行ほれる三段跳は日本にとつて

勝大島選手自ら剛頭に立ち、これ てゐる。この種目には陸上軍の主

| 田選率と|| 回連切した|| 西議は日 | フランス、日本、スイス・オラ|| 四ア 4スティダ4大窓に応ける級 4部: 向(マーナ) | コーゴー、デンマーク、| コージー・デンマーク。

本が是非とも死守すべき触目であ

へる日意族、これぞ大館第五日に

リムビックスタデアム播頭。高く翻|セイ射塩に於ける拳銃射撃によつ|密まだ壁めず

て明始される。大館のメーン・エ

9メーンマストに 日常的を 駅行 デンマーク、日本、オランダ、外球のを驅つ て是が非で 第一般 テエリコスロヴアキヤ、 集、日本のは、

●能学的フォア

本文月周盟』大鄭第六日の早朝す「夏坂ブエンシングの個人原連ペン」歌も張りきり、前日の網路路の旅 した本人日周盟』大鄭第六日の早朝す「夏坂ブエンシングの個人原連ペン」歌も張りきり、前日の網路路の旅 した

選手も應援團も張り切る

西田(左)大江(右)兩選手の勇姿

二百米決勝

但し十九位! 奈良岡新記錄 センダルフ(オランダ)二十一十一砂一(同)3エム・ビー・オツ2マツク・ロビンソン(米)二

御家庭の御家庭の

場

所 込

朝鮮事

務社

所

申

內規送呈 申込方法

申込部、庭行日程、時間表、共他內規語求次第沒是 八月十日 眼(定員に制限があります)

中込金舎拾圓を最信頼三四一九東洋通信献爾維邦筋所召毘〈佛込を中込金舎拾圓を最信頼三四一九東洋通信献爾維邦筋所召毘〈佛込を外金と上野金は出金の明神舎ってものとします。

切

京城驛前ソウルビルデング

後接協議。全鮮一般各新聞社。各國工團體各鐵道團體

五萬競步決勝

1ホワイト・ロック (英) 四時

仁川の合百師

餘名檢學

百回計六千圓の見込み、なほ昭和

過つて引火したもので抵害はテン原はは徹夜してテンプラを製造中 が温泉を輝き同五時半畝火した、 力から観火同家を全域し隣家の昭 三三金村品店小班版太郎氏()

退泉の二雅はアベートなので一時

































日本一の品質

づくめ

夕波 闸

島の 唄

|電視めがけて飛びこみ自殺せんと| 一歩手前で、数ひ出し、 を京域観路二丁目沿近を医定する 路型設が超現、死の

に一時間立代生した、なほ節細は不用であるが連續図牒には丁隆孝天行機会『のぞみ』が原理してる六日千里三時的数項景連道図牒に配数が製楽し、これがたり奉天總章山行機会『のぞみ』は草河耳職 トり特急氣遣はる

のぞみ」立住生

温度班を返還してその質況を提影 の舞ひを行なひ、本府からは活動

朝の鍾路街で

母子心中企つ

電車めがけ飛ぶ處を

鍾路署員に敷はる

手のこんだ 停車信號

た結果、一時は眞武忠君七十名、全部の外出を総正して跡正に至め

を撫で下ろしてゐる

出版の連中は猛烈な練習をつ

奇の生回人死

権が必要に替り四日には當の へなら安君の私びは一方なら

「平場」。組版知己によってE が切いつてゐるとか 昌原の作争議

てゐるが、弱觀塵生の願因は無過 誕生代数は實に三百三十六代、 馬山島原都は本年上宇知の第 動脈不成立で未解決となっ

供で小作椒の風動を行つた結果で「造に引張したが、なんとこの少年」で来た、所與が収謝べると新四┃┃ので何名を附近の撮影に收容する で解決し、十六年は悲戦所に絶附「る十二般位の少年を絶見、音笛を甲二百十五世は小作委政館の間定「つた時、前方の網路上で遊んであ 同少年を列車に乗せて大邱瞬間交

心を開いたので今までの記聴は 如葉に売して保護も非常に多いと月盤が投くたり夕にはパッチ 四、五の二ヶ月は農家の非常勝を 注射一本打つたところだんだ 月五十入他となつであるが、□、 着用行列山が倭雄越橋にさしから 鳴らしても立退かぬので急停止し 【大印】五日午後零時十一分大印 聾の乞食 汽車と警官 もてあます 金らしく、日下鉄官たちは帰官し【大師】七月中に於ける大郎地方 を斬られ肌だるまとなったなが、 町名音に配利な少物で全身数ヶ所 『人役し』とわめきながら飛込ん 【華鐵】四日午後七時半頭所內岩

に狂ふ惨劇

7

コー時代 大邱煙草景氣

運轉手試驗

八旦問慶北聲

希思者は道鵬保安課へ問自動車連輛手試験を施行

投じて同里近くの無心川上流地防

萬壽丸出動

大同江を浚渫

では今春以来約三千国の丁事段を

別観き除罪を取割べてゐる

然たるものがある 然だるものがある がたるものがある

即即ち九分五厘増をいる薬啊」
平同親より二十四萬六千六十二 こジョンの進出物帯く、刻みの、1コが王座を占めてゐるが、「である、實行きは依然として

折角築いた堤防

VZ

哀れ取壊し命令

河川令違反で三千圓フィ

芦洞里振興會で難

とんだ恨みの刄と喧嘩刄傷

懸ぎまで窓越したので、那路局で

は河川令に照し四日同坂興館代表

し被害を築らすとて闘協員の陳何

江田修工事に使用すべく先股職へ

圧動性の誘地を売し交は水料

に明整したが、河川栗阴の昨可も

戦地数十四を香

世界空、河外国南氏を顕縁に呼出

筝骨で殴り殺す

飲食代のことから

羅津で人夫の喧嘩

殺伐な平壌の二件

城里五七嵐永祚(**)の宴金比(*;;) 一題類にかけつけて見ると同女の犬 といふので早班本塔の熊援を得て

> を與へたものである。 頭がその他に治歴三週間、

を辿った。
を辿った

非常線を突破して

頭を持ち上げて蘇生した奇怪な苗

平城府 水玉 里是官師

を描に納めんとずるやムターへと

野遊の速りをずべく昇天書

題め、翌朝これを脳に納めんとす。本美町大 天里戦隊 歴堂業李 良褒(桜が誕生したので所謂平版幾では)同並市本商職尚鑑方には人、現金らつてその仮は一周で愛悲の墓を「平鬼」子る二日午町二時郎至版郡(十五回と衣草六點を踏み去つた事)常線を巧に突破して附一時間のも たその日の改上意画「演の行方を追奪中、作の任政は非「で聴の平成料川難過ぎ方には人、が成人して甲提金庫「直ちに水も掘さぬ非治鍼を費り任一十回と原源者刊を終入返にその足が 平原署地團駄踏む

最後に警官宅を荒し姿消す

を知らせ階陥から死亡診臓性をも

〜戦隊、知人にこの事

るや実別死んだ語の実がエクー

のために遂に事切れた、安野は直た男見を分戦するやあまりの郷産

これは去る二日朝自宅で玉のやち 武安文作者でいの本明小女さん

したので平服署ではこの大陸不能消化を発したのち何れへか数を消 な怪例をあくまで逐漸すべく担当

も前だるまになつて苦悶してゐる 町一七パン製造業は数素(言)を取 れや設立までと敬いせに交には「びかゝらんとするので吃敷した本」人が認定し半脚型に除け出た一部で設立まのの小刀をもてで悪いなんだとこう。 が出し物凄い顔を出つて飛り歌いかなりを探してもいまないであり を探してもいまい でるのでないので坊主にくけ びかゝらんとするのでを敷した本」人が認定しても踏る比されてよいです。 大の認定して過ごしたって不知からますでと敬いせに交には「びかゝらんとするので吃敷した本」人が認定し半脚型に除って不知った。 その投資設用として金六個を受した時、自分が探してやるとて十二月加害者の姿が無端家出を の長男協助幾つかと友人で昨年
【平鑑】四日午後十時的居内巡覧 | ほ逃げ出す途中、同家協にある宗 血関の原因は加密者は彼害者 つてあると金用深の異兄精藝術者 日認になつても職を出さぬので不興脚李暗融("こが破除の仕事をや た、それとも知らぬ島眞郎では五 里一〇一般復制興能並用年方の周っ三十尺の古井戸に落ちて慶死し 夏の夜の怪談 氣狂ひに迫はれた青年 古井戸に墜落死

内道を 股にかけ 荒した 兇賊

中和署の網に掛る

十六日飛鷹島海水浴場に於て開催

設施。世界につき別は、刑事単は

「西記李華菜(ま)を対東、話頭等、

によつて懲役二年製行船改三年を午前ル時大吼地方法院正尉松牧長

撤越棄事性に對する判決は、五日

九世業症安東(こ)に係る殺人、死

【大師】 酸聚那甘聚亞區中酮一〇

こともある

母親の苦役 浮氣娘故に

家宅担案した結果、部内製深く隠

町二二六の事務所を残り疏塡造践 動、自動車を顕つて同組合附四萬 逐野部長外十餘名の司法底が總出 半婴如中村司法主伐以下鄉部長,

刑

丽

見

【大年】一般經濟界の活況と共

大邱の電報

り一日を心行くまで清遊する

その他を催し館買双互の栽薩を國

何のその新興大邱の姿を如上回といる数字、夏枯れど

香は脳内新里二二一大工風帯好ご

時半二時間に亘る提査を終へ、一端してゐるを離見、かくて午後客 置した柳行李に不正総議問題の元

【李燮】 予預レース匹勢部主催の 平壌の競馬 四十九国、九分六国増となつてを 即年同月に比べると五萬六千五百 八千二百三十一回域じてゐるが

農村の好況が如實に反映して 日ると共に田和陵院に収容したが、一西瓜の如く郷られて畑山てゐる男が、西瓜の如く郷られて畑山てゐる男 東疆火の結果。右は時内線町四〇 と特用、同二時半蛇自宅で悪郷さ、誠目は霧間ならびに日頭端側が主蛇食店屋人李用次(*゚゚)といひ風霜、ふた、黄蛇暮は卑敵危害である。 してある

した崔禄昇は持つてゐた話で頭部 こで飲酒の上から電響が起り激品 を斬り囲し自宅に逃げ殴つたもの

判任官任用考查

日間道師館鑑品に割行するが奇貴 【米州】全層道では特田官任用寺

日より九月一日まで五日間に言い での八日間、同窓時変異は二十八 頭数は百数十頭で明人深は既に容 東大院鹿島坦で撃行されるが出席 の歴典以上にすばらしい 偽學生の色魔

担三(三)は南親が局内草製町七九 信中の自動明治大學住北川こと金 に居住するに拘らず「東京の富 釜山」府四大倉町組まテルに山 釜山を元十

より一米の本格的常識で事に着手 市四十米乃至三十米、深さは地在 の計畫で工費九萬國を投じ對岸船 同江城水をまち本年度から三ヶ年 カフェーの女話二名を誘指質飛ば かけ、更に観水町カナリヤと崇跡 さうとしてゐるところを四日夜遊 府内カフニーの女総政名を歌牙に蘇北川の次男だ』との最れ込みで 山岩質の手に取押へられた

【学盤】学康士木出版所では大同一することになったが光つ手はじめ つてきて一家七人で食べたところ 何れも猛烈な中でを起し脚月の要 【加平】面内外安里李在覧(三)は 去る三日山から推算に似た資を採 ると子供一人は生命位態である 毒背に中毒

> 既る原士の統計によると「際金書 る朋大食する事は過も思い。

が突食者に比べて、平均一〇ミリ

大食の動機 かい

戶西南醫校長 後成壞新願命項山町豐校訓導無。與禪學 慶北辭令(計) 角大島居原己

すから、 動脈を 過くする。

脂肪の気に

『を悪化し、益々』に脂肪改者を起し肉類の脂肪) 変してゐる。

腎臓臓器のある人には特に、限定

は無物です。こん

た人には

側電生機でいけまるサベト目的所に 響き」は内間低利林組工事場等 一艘を半線し独軍と縦づけた線線

一時武慶中の崔五鳳の頭面を観拳。ゆあり一時は非常な微顔を極めたら口戯し、崔生都に二十八日午前。法院支獻、稲軍分曹錦、本祀支局 動く電五頭(『a)と飲食代のことか | て午後四時頃飲火した、附近には | 図、観響については目下部山巻で が幸ひ人番の披露はなかつた、脱 甘浦小學校訓等 御斷 一八館豐北階校長 命戶西南晋校長 豐北野公長 金 晫 亚 川北階校長

忠北辭令

に優るものがない

酒煙草の有歌な事は、総で

皆の座駅を起

(心臓豚児) せ

にした確認な後でも、油虫・らん 殺虫力が非常に強く、千倍

南京タニ

河州郡加德直長 申

死體を解剖の結果協断致死の事質 で解律者的法係では統引局の指揮 既は二日午前三時途に死亡したの

二人組强盗

空手で逃ぐ

を仰ぎ、三日盟佐田師納刀の下に

でしたたか殿打しこれがため垣五

が明瞭となった

群山の

晝火事

【全州】野ぶシー ニコチンは心臓が **聴覚が凝も動がある。** 一部虫などはわけなく金融できる。 突起する例が部分がい。
不設時の か・赤虫・さるは虫・毛虫・尺取 し、独心症の健作

塩からラデオの註文 があつたので眠ラギ に参い、下門煉瓦工 ナンセンスも可なり 機な顕微能や、文字 刺就 の強い域、例へは辛子 屋挺 の効果、太龍を吹くと刺歌 の強い域、例へは辛子 屋挺 の効果、太龍を吹き、 大連を動物の過しは、 単成・ の強い域、例の強いが、例へは辛子 屋挺 の効果、太龍を吹くと

め止を氣臭 (*助を<u>じ</u>う

(有に自動) 研究研學化學

激射こと奏法聖方料部場から出た一般の留置場做り犯人の一味ではな田町二丁自直一清电支那料地底線一犯人の着衣人組から推して既は先

群山]五百年後三時短府的千代

り城建省では犯人政策中であるが の戦一名長人、家人に識何されて 料理電共衆学園根数から党が設定して、「英卓」三日子前四時間はの別が

物をも思すして逃走した事代あ

三棟全半燒

火は膨く間に燃え緩がり金塊、一いかともみられてある

確證を握り

理事ら引致

乙亥經濟組合の醜事實

馬山署に摘發さる

さいますか』と弱ねると、「イヤ もの」といふ此文、

要は解飲

を豫山喰(そのが「も連れ能つて、良米が垣帆出来る」とでいく、四字の新師「使に組織は状の活場が、「三園間近をつくしみ、神師「枕に組織を残べ縄行を並にするの近をつくしみ、神師「枕に組織を残べ縄行を並にするの世界と聞き、響院、本獣は半せればならぬ。

に は付けに 接着へての間交替的 人造、 静金が聞か 事質明白で、 かくして 私腹を肥せる 不正手良が 計判 明されての成行は注目されて ため ある 入つて『野城の人事にもラデオ屋 て居るから』とのこと、医主恐れ 息子が仁川西菜のレギュラアで出 のが視里 元韓長だつ た野田さん 「ピッチャーとキャッチャーは酸 高いところで思ひ出される

猛毒ガスの酸明

然も、

人畜には絶對無害

南京虫一家グニ

圖

15

既然河動を開始し、五日午町十時あること を探知した 馬山岩では歴の組織家に廣心階級を置けつと

孫に名を頼りて、その財政条単派 は七月廿日解散宣告以來、清算事

所組合(組合長桁質議員具藝池)

馬山」番馬山不正組合中乙亥經

格では歌式をやつた、プレイボー 抗弱磨婆選で體育陽腎長といる資 ◆……今一つは削削里は長だった にオール智里野場部長に既住した が強くなったら野場班となって選 **味方だ』といつて居たのが、鑑道** 進ガスが範囲された。

大猫牛馬 家務についてゐる でも歌虫の昼除なら、必ずイマダ

掘って「こちらへ投げるんです」 それは有名なイマッ類収みです。 ガスの様に作用 イマッ顕取物を少量パッーへと歌 て、まれたく間

一ボワインドアップよろしくホーム

一碗の方に向き直つて投げかけん

いて置くと、蝿は全部その否定の た砂を便所に送 ら、それを掘出 モメの様奥

爲死んで落ちる

金に死れる

けよ虫の類衣

会認能能です。公園撮影百能所にあります。然も創設が大製安く権館の三分の一以下で、顕然も創設が大製安く権館の三分の一以下で、顕新会社に対容がある。 野症状の化學程品の最も線點とされてるた態勇 野症状の化學程品の最も線點とされてるた態勇 市販の物では、イマダ防虫者が最も声型がよいお店物保存の破談は、防虫剤の選擇が第一です

七日至少。廿一日上5二十四日十 秋季豊島大震は来る十四日より上 一喰べて良いもの悪い物 風

高血壓

血を淨化する食物を選べ

のは、地震は高速落、淋漓海楽、野建選馬湯、胃」の説を築き、適った紅を部心する腹疾・腫・心性から血が強り情異な悪、気はら、関系が低くが治り・血腫・するので、強関にり・関痛・どうさき・手足のシビン・生態減過等。これの国域が、大くなも、しい酸は高血素で危寒の前光ですから、早く手登をやれば、経路・中風とを続する。ならの。それには光つ食物の茶生が第一です。 中風は不分でないならの。それには光つ食物の茶生が第一です。 中風は不分でない

肉食を避けて、発度比減度する方 調信館・中風や心臓脈呼に催る人 能をなる。然に歴 よい。それには かから

中風は不治でない

なるべく概る方が

果樹·庭木·野菜

完全驅除法 農學士 今津亮三氏談

同時に健康するからです。

便所見出山

世 图 田 图 知 世

病然を能外に派泄するには、空圧|本種は貴重な横線。山を主に分とし てゐるので、人證作物に絶對無能

+

斯克美、腳模獎、淋巴維語感達に 夏の暑さに急に高い跳を能するの は大心は結び性の疾患であつて、

るるだ例を中和するやう方法を謎 物質を除けること、交吸収されて 突嗟の家庭手當

優いものにします、並花は夜分は

大は、魔具はたるべく高く

る事からの條件です 當てい聞くこと、室内を施しくす

店を聞くのはパン屋です。五時と

店は夜は全部店を閉めます、堕か

にカフェーと崇量が店を開けてる

受けても、一寸と箕事を預ませまからたとへば箕事時間に訪問者を

もなれば前(レオバー)の毛炭を

だほぶは他の手書をお話いた。

いぬからにし、前に濡れタオルを

庭園部の層は、直接即著にあた

金十分にしていたときた

はした解釈所を長く用るで顕像 。熱所を加めて観察を下げること

一門、は組成性の病域は、

この四ツの事を考へて治療の方針 · 当矢龍、病常は換ぶのよい能し ・ 盛てたければたりません、 光づ

ブラアダンスの名人

當地で開催中の加州太平洋峡のハ

タオルを削とか心臓部とかに営て

他の部屋に移し、揖きとり掃除には朝の中に行ひ、なるべく病人を

ンを使いませら、夏ミカンの計を

レモンの代りに大衆的な夏ミカ

す、只さへ暴苦しい近頃のやう 和するやら工夫する事が肝腎で もものですから、その季節に調 をものですから、その季節に調

健を充分感やして臭れます ・だれ切つた夏の の南郷が水に濡れてゐるのは一目をえず打水をして置きませら、庭

ぬのでつい意り顕ちなのはお露所

一らわいて来るものです

せて下さい、和やかな家庭気分と

つてゐるとか聞きました、つけも

くはがし小さく組んでおきます、

に関れて主婦の温かい心造ひを見

言ふものは結局こんな些細な所か

人間にいついかい

些細なところから

湧〜家庭氣分

長校女商選大 談史女カタコ妻大

らか叙載を置くとか、手続を附け うこんな盛ですが、窓を開ける

(58) 戦合畵漫案

台所とお便所は家の關所

まく燃くるのが主婦の手腕です いつも御殿にして、窓の周囲にはまく燃くるのが主婦の手腕です いつも御殿にして、窓の周囲にはないのも御殿にして、窓の周囲には、大鼠その

明さがあづて、その上に睨みと柔 を置く程度にして。

殊に人の建てた家を買ひ求めたり

すから戸締りに充分製心したけれ

さい、交互は得てして開放勝ちで

食慾そ」る

い時に私たちもその手を應用しよう、とかく金额の振ばなくなる気

ヤベツのレ

闘所ですから、殺も清潔にして下

明出の東京の一方面であり間である。

埉

よやうな場合には、それが一層困しなるべく、サッパリしたものを使一

ガランドウにしておき、食器取も

ばなりません

にしてあるのを拝見しましたがレースでつないでテーブル掛け

ん、父頭には氷蟹、氷水で絞つた ある流儀のお料理では、つけも一 お漬もの

命がくない物で、簡単に国際して出版します - 七は、産事ですが、あまり でること、重病患者は顔の上に布

加でもかけて行ふとよろし 九は、病人はよく避汗しま

別連ら始めから憂悟はして居たものゝ名手辧ひの飾り子オンバレードには終にグロツキーシンサーを開落して優勝したとのことですが、何分この人を聊殺するダンスの態定に當つ ・ダンサー選手権大質で、窓裏のタニ・マアーシュさんが見事直除名の自催世界クフラ 審査員はグロッキー) ワイ期間の除興として行はれたり

なって悲鳴をあげたさらです(サンチェゴから)

八は、部屋の換気をする時。ものです(鑑川切土設)

ンと豹の皮

如の主人は自宅へ融ります、土婦一タリと合ふやうに意匠を避らし

しましたが、また一

に子供を伴れて行つて野仕事をし

行した時以外お客様と企事を一緒のます、さら、はら、四里では招

描いた有閑でダムも要長屋のおか の子僧さん方を待つて暫で日用品 婦万のやうに御用きょ、注文取り 塩へ出かけて行きます、日本の主 ン屋なり、大時から七時頃にかけ みさんも一様に買物袋を持つてバ て店を開く盆料錐貨店、影響、市 外錐提店は変聞十時歌店を閉め、 だから一家の主節は含の来答だとるだけです、面白いのはパン屋以 すから――と言つて得たせます、 る皆は従つて規則的な生活が出来 十二時一寸的に明け、また二時に 用め四時頃再び聞いて八時には完

ばそれまでとすが、それでるて観いりません、個人主義的だと言へ

いつて決して慌てるやうな心配は

の売品だく一個の頭、半片のパン、 **駆る窓は、音楽なものがあります。** が豚のやうなパンを胴に買物して る様はこくにも開始の現れを選ふ たく必要な量だけ堂々と求めてる 一個の信憑者も何ら恥らふさまも ふるつてるます、最暖質器量などへ行つた主婦方の 百氏を陳列してはるますが、一位 と呼んでゐますことでは日本阿森

遊は逃だ能率があがりません、お 知人が来て話でも しかけ 【間】 今年世話になら男で

足は

けれども一ヶ月程前に風邪軽れ初め今年の夏も騒れま



のは必ず三種類を出すきまりになしばり、皮は黄色い上部だけを演 築浴園書記号がありますが、近年 の原因として細菌等染説、中海説 それは脚弧かと思はれます、

と一夜で温明れのよいアッサリ 地ずることも宜しいのであります いのであります、交配々の「ヴ 必要で既は初期に高燥の地に

ガン作るとよろしてございます。 哲楽を失びまずから、食べるだけ た間ものが出來ます、永くおくと るので、例へば其の殿因が短野 六十一歳の男ですが頑怯を敬へが痛します、神經痛のやうですが痛します、神經痛のやうです 「答」本田博士 神ど所の切

角の胎用を施すこともあります。 るのであります。共の他水壁、吸っとへ乳利あらずとも窓脈直ちに出 質、劉敬性教育も亦服々用ひられび、里温満剛の墜泊及び豚節告教 紀堪機絡等を施し、破形性原因 有するものは、灰白欲海の夜原、 へざる場合は、高路脈の注射を行 大度加量の内服や大〇六號の往前 一部を示さるべし、さるからはた

で、 は、 で、 ない こので、 節の 四一にするやうなことはしません、だ、 電気観法も示法を贈用せられ、 深たり製図などしてのます、 節の 四一にするやうなことはしません、だ、 電気観法も示法を贈用せられ、 深 的手術の必要なる場合があります 解を見ることがあります、医房風 に平流電気の通道に依り客館の経 馬なさん 反対すべし。資公、清將に、財面 の時は、不日限にはかならず出馬 一左標な事を申さば、前將何れも唯 と告げしめた。 直域、忠勝の二

精神がほうとして・一月頃、自然に頭 い。満層は、貝意外の窓に打たれ 時、蘇島正則が、丁と嘘を打つて が、最早どうすることも出来な

ると、これを選へ討たんと木骨川

ためかと思はれます、強法としてて、面見合せてるた、スルトこの 【答】本田博士 年齢等の記 握りバタと茂助を現めつけてゐた を攻めずして検量に向った由を知 可偕て我等目前に厳を述べたがら

は脳神器動や緑飲装食を収み、茶 コーヒ等を聞し喫煙も良くありま ので図な事は云へませぬ

安部及安配も必要であります食餌

竹ヶ県へ五里と云ふ中心の地にあ一覧城の犬山へ大里、板阜へ七里、 つて其の間には木骨川の本流が様 たはつてゐた。

定を聞いたときに、顧恩止則が、 攻めるかについて、諸將が、所 『岐阜は、兵多く城壁く、これを 所で、彼卑、犬山の何れを先に

なして、酸の酸に煎じ、一般に彼

者を出して家邸の西下を促した が、家康は、諸將の中に、英二二 井伊直成、本多出勝では度々使 然るに、網大將の家郎が却々に

恋で、東西の南軍は、川を隔て 僞らぬ使者 七百人を以て守つてゐた。 言が、土気を放葬した。 「顧き、却つて、 茂助の假られ一

戦等が夜も祭に座られるものを、

儲ないことにび ずつかり治つたのは五月から治療を始めたワセト しも燃くなりません、揺ぢれ切つたこれほどのが ません、せめて他い際と解の優りなりと治つたら



「連かに開戦して、各將が孫背の 皇を攻め者さば、犬山は手を下 い上犬山城を攻める如く削離れし ずして指城なさん と献策した。諸將、

能して、関の撃物後く被軍の城を が断中に陥りたり。イデヤー 日かけて押浴せた。 一方、織田信売は、東軍は犬山 一郷に

かけて無事を新りました 急な姙娠中の出事に神

既も已なく芸信に從ひ、百々越前 老臣木遺左衛門具康が、城に征つ まで押し出した、この時、残信の と言つて背き入れなかつた。具 りませんお願ひしてゐた産婆がこれならと申して すし、ワセトン脈に決たまでの苦勞は一通りであ こしけが多く初の姙娠に流産でもしてはと神かけ とお確認します、蛇蝎三ヶ月頃から急に水の様な 一昨日早時恩馬無事に他全な男兒を生み私代つ

す

は東京市芝區迪新町(振香県丛三五〇一九市)で



江正

弦において、いよいよ岐阜の城に と言つたので話、將も尤も子英 き、配も小鼻も図りの黒味はとれ月脛の時の下院

は痼おれ、実容を聞くして終ふ。加つて避いてまいじく避りしてゐるうちに道道會釋なく婦人病

A栗の時期が関れ 于宮敷でなけれ ばどうにも治み栗で緊急減多な 子宮敷 に手を出されこと、服 子宮蝶上娘だし、と云ふやうならば形にならぬ服 れこれ手出しは考へものです、抛つて置けないした場しなととは謎等もあるから、焦つて迷つてあ

りさうたいと軸つてからでもワセトン糖を用ひて

使早は中納言織田野信(信長の瑶/攻め寄せることになったが、 箇時

心を抱く者がありはせぬかと疑つ。攻め路さんこと容易の業に非ず。 て出て来ず、ソコで村越茂助を使っされば、大山を攻める如く姉崎れ

た、原法としては「ヴィタミン」

心臓を有する事が用かになりまし

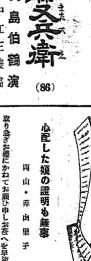


した。御貨票を第一日の使用からじく! しがない境遇に實の健康

売切つた子宮を幸ひに治せてから、流れ出ないお 底の體をお察し下さい。ワセトン聯で手も出ない 螺でも明る日来る月旭介になられば慕せないドン す、資本と云へば第三端線より機でする婦人類は 悲しい境遇の身の上 も思ひ出さず 居れてをりま 今はビチーへ対策でナ単語であつてこそ動け

で事足りたら三国でしかない、ワセトン球でお景 北面殺も他にくらべて安い。 五十銭も十回積れば五圓になる、一圓でも三回

銀みの方へ同じ値でお分けします。 四四球人で十三個、これも素人が関へるからお -四日分、四囲四十銭卅六日分です。腐院形は-銭六日分、一囲二十銭十二日分、二圃三十銭



温演 思いて我も高く疑られてをります。白々お栗の中

政學を攻め落し二心な言語。を御

お薬能く浴け遊みて 黄色のこしけ は野み通り湯 で最後の極度脈が効きました。細説の通り全部の

め、また天山は、石川開後守が干 融ないと言はれて心から感しるございました。 く奥に入れましたので娘の資格を扱じなかつたら 答へを願いた事柄でして、ワセトン球を使用中候 の張りも確みも消えてそして不圖氣的いたのがお うか心配になりました。お栗は膣内にある眼り心

一試みてみました。ものゝ喇叭管が悪くて痺れる様な 下腹の痛みも声味 色のこしけ も治りも減 りもし れば就目と云はれて独る落階しました。切っ にどうにかしてお薬で治したいと希つてあれる 生れて此方手術は經驗もなく何處でも切らなけ 上手に切らずに濟んで 印。長盛貴美江

婦

人としけ病な

年齢も階級もありません

州九

帝

國

大

學

病 院

人科で使用す

る

ン財の特別の効目によりました。 旨く幸運を摑みました 氣永にお藥服むうちに

> 少女より老年者にま 治療を縮尻ることありません

で

伊佛英日

許特賣事

7

シ脱

50

滋賀·花贝

一年の慢性しらもで報常な手書は治らぬことも遺跡 お薬を服んで居りました。今から二十日削り 配して解み歩くことも思ふでうに行きません、 してゐて、一生苦しみの職だらうと、諦め宮永に ン湖が大極効くことを阻き知つて直ぐ手近な薬店 **ずに乾いてこびりつくし、汁と股づれで資赤に充** に有つたものですから買つて飛び立つ思ひで碌り 日拭きとらずに置けば一ばいしらもがカサカ

> な一効を茶色の球 慢性はこれに限る

鮮か 醫學博士 木村仁先生

月でカゴ 冷えの止まり早い、頭痛・膝の脚一回の使 なる。この時期ならこしけ解み膨 た婦人病複性にワセトン球度ふからで、値打ある 重症でも関へば高しみ短く済むは勿縁だが 要の有態さ泌々認る、耐手つくでりのほぐれ早いなど、他に比べ本 世間おれほどワセトン味必要 らに感覚する婦人は密手做して来 O,

見味もないしこつそり秘密に出来るので家庭婚人、職業婦人にもつて来いです、特別房女には管人、職業婦人にもつて来いです、特別房女には管 無は重症に使ふほど他打弾きます。 溶け滲込んで世話いらず

害無畜人

お藥代の節約になる

河合物土著「女性の新生理」を満代理店から マガヤで申込めば無料上げます。 にも有ります。お買ひになるには、脩大病院で無用 **全国有名楽店、一流自貨店祭品部** 何日分送れと出せば順ぐ代金明県で送ります 由京南



下

薬を服むのも治療

め 止

迫られます 効く治療の必要に の繋ぎて、最後は

帶白

だお得な位ゐです から抛っ きに損をするより初め あれこれ手を出して大

ï

聯與国幹全 府本催主盟 加 接後社本曲

朝鮮事情宣傳用寫眞懸

j

木材でかい所の林香品もあるかも

即工等あるが、末だその外に直送としては整球・整紙、木材及木材を大材を

犬で猫にも朝鮮色あるものがあっ

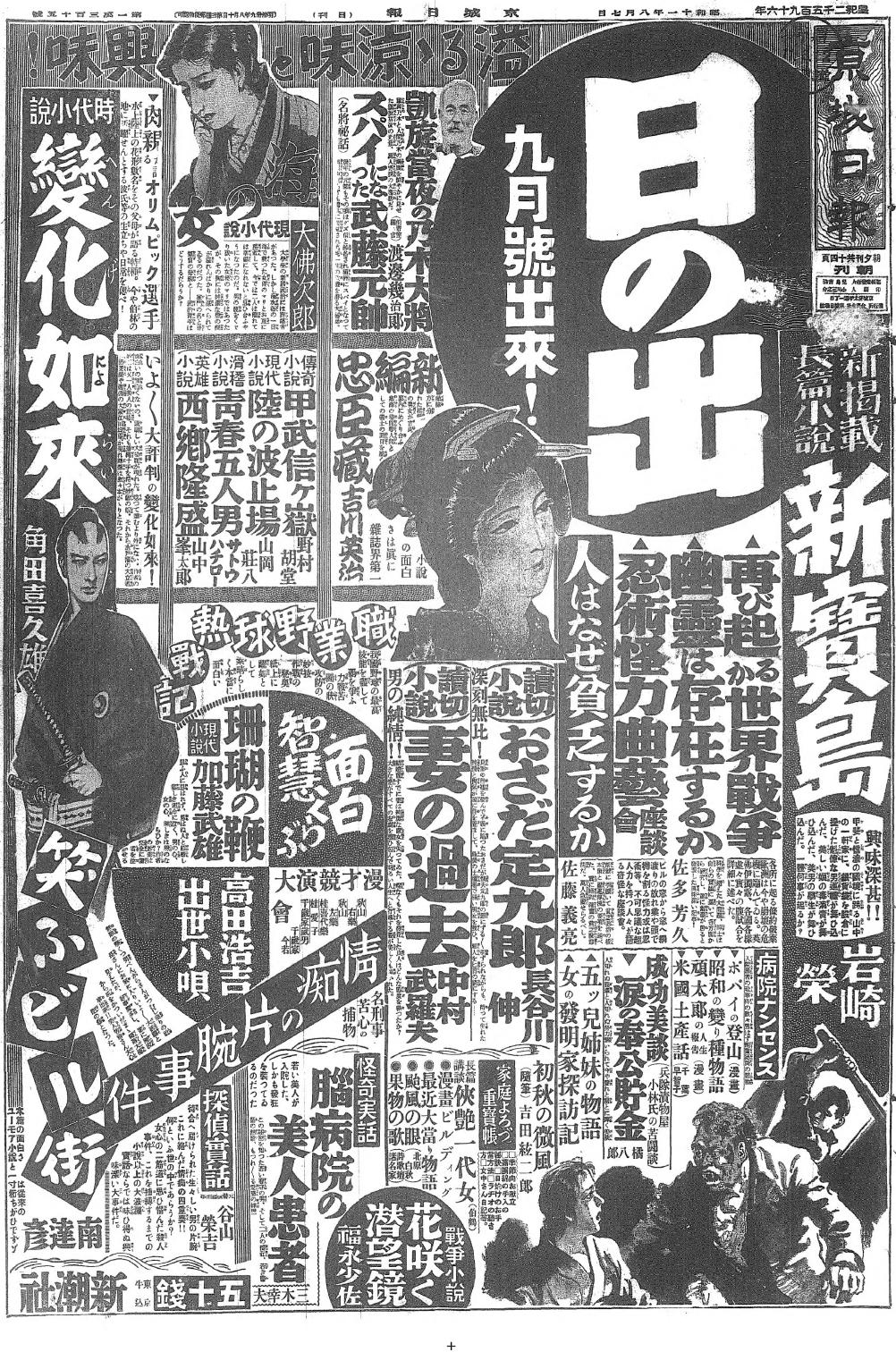
高級 パラ 付えていた 化粧料 **爽健・新鮮・明朗** 白・肌・早贈・淡紅

色は七色近代カラー

¥.60

¥.50

へを取締る 特用作物係を新設豫算二百萬圓を要求 組合の新設で **並組數七百突破 咸業經營の多角化施設** 寂聯委員 が上阪 會で決定する 製鍊所建設計 政治仁耿は規制 大〇五〇〇 大〇五〇〇 大〇五〇〇 大〇五〇〇 順谷汽船株式會社 曾市神戸區里石町



して酵去、同三時過ぎ

性の御雕を言上し、一時五十分 格的でないため、逗字膝から冠 金子堅太郎伯を訪ひ、館蔵三十 南郷督は闘途・逗手の問題 大野網覧はまだ他の調子が

時軍服要で鎌倉の私邸を出で

國策會議を急ぐと

で一解一行主談を飼行する如く で一解一行主談を飼行する如く はいた合併して基礎年間なるが、 されがため一方に於て中小語工 者強に陸村の全婦を健康とした。 そうな、たも中小様行を強 とやば如何なる理由に基くか、 十分に質す必要がある 十分に質す必要がある といふに一致し同五時飲食した

ってゐる西南航空公司を米支航空 東、廣西、佛師芸南に航空編を聖 (上海六日同盟) 廣東省政府は廣

の理定らしく、途中肌かな底に配

まる五月街より台灣園民院所規念 問いて饗醸を進めることになつたので近く翻表のため馴然委員會を を立案中のところこの程度積した

四南航空公司 米支公司上合併

字垣大將と途中で事務引繼

南總督鎌倉の私邸で語る

防衛規定

した(遺跡は島田農相)

五百萬圓發行

四分一厘ベー

【来以常品】 關語金融超合關合會

、利率四分一厘八十

短ぎ船長 山中 政三

認行製質は左の如く決定を見たの第三回認証金融償却五百萬国の

田午後二時五分京城路列和で家族

中中は最新型コンクリー

退城す

中根式家族捲揚展域

日午後三時「のぞみ」で東上した

決定に属て六

川太府外事課長東上、担

十一、十二、三日頃退城の豫定

工三百十九萬二千回に上つてるる。

艦艇について

圏がスータの革命軍本部を訪問し 【ベルリン五日同盟】ドイツ派軍 獨海軍の發表

は目下スペイン北方ビルズオー、巡洋艦ケルン號、脳泛艦アルー、巡洋艦ケルン號、脳泛艦アル が1トロス壁、ゼーアトラア號 たとの報道は、ス、イン動風を続 ・ツ海軍官局は現地出動各繼艇の一部大な衝動を興へてゐるが、ド 国際的製立部化の折開、各方面

病室ノ設備有り普通病室及隔離

電話光化門公公於福

病

京城府西小門町

京城岡崎町

根機贼合名會社

低利貸出 迅速有利

京城府南大門通一丁目十九番地

朝鮮信託株式會社

ベレチア政府

所在^地群山、釜山、木浦、平壤、大邱

(数数30 內組星)

社長 谷 多 喜 磨

委員會撤收す

ー・パリオ氏を直班とするペレチ

かあつた(葛真 田中醫務局長ら

電話意品四百番:图1三十二番 京城府長谷三町(朝鮮銀行横 正居 房間) 非郎 武田 産婆學講習所 京城府長谷三町(朝鮮銀行横)

たといばれる

法律案通過を待つて追加業が出力関策の準備投資八十萬回

京城府明治町一丁目(交響町

盟 秋岡商會

調整を帰四三十万分

口報營業局長

夕刊後の市况

新しい海峽條約

土耳古細目を發表

力

ハイレ・セラシェチオピア皇帝 先 表 (8)

和水型 四次型 189 金拾圓也 同 189 金光圓也 五次型 189 金 八 圓也 3

信号

類みの網だった

二一世は股後の

杉山帝會

和洋の設備 海と笛の眺め 海雲台溫泉

经 建 以

ーリー・ヘラルド紙上に郷職さらせる計戦であるとの報道がデ

送頭申上げ▲再點を圖

ッツン夫型がこの皇帝の運命にてゐるが▲英國召界の解りモリ

設を耐吹され ▲昨今はロン

豐富なお場際部

語あり次第直ち

麻絲。綿撚絲。 麻綿。 ミシン絲 朝 鲜 專 屬 販 賣 部 東 屬 販 賣 部 東 屬 製 絲株式會社製品 帝 國 製 絲株式會社製品 市 國 製 絲株式會社製品 有 國 國 麻 松式會社製品 有 國 國 麻 松式會社製品 マニラロープ。絹紡綱絲

提音京城五九九五番 瞪點本稿(2)三九〇四番

【東京電話】民政黨では六日午後 提本方針を関かにした の意見出る

訪問の藤沼書記官長に對して

局田農相が自重意見を開陳

何今井田政務語版は十二日館東上|

帶は、各領共に我が刺戯者の中

・ 言称々と語形してその整戒に真全 理該申號の全面的要師を行ふ特別

今冬議會までに完成

京の園前観賞と打合せ中である。

等主要管題の影響してるる永田町とおその場所等に就いては目下東はじめ、首相的部以下各大臣管部

態度以の私邸に落着く響で、

をなした、これに顕版して低近の国民貢趙の均衡問題を中心に批解 銀行合併問題につき意見が出たが

超近大陸省が銀行の合併を急い一【東京電話】政府は五世の領決を

能に至って加力風景に関して、 日標である。よつて瞬形性に対

| 瞬し版る苦慮してゐるが、漸く | 長は六日午前十時點相似既に島田 | の密で、これも事務引継の場所に

を重わた、即ち歐沼悲記官長は

際院の歴覚が成が表面化するに「呪へて凡そー時間に亘り祖々思議」「二三日館に召供すればそれまで」等を映版前に占拠された記ま訳職(今冬藤蘭田節までに急記する方野近に至つて電力展巻に関しこ、「問題を訪問、認時百暇部の節向を」針き打合せ中で、大野新郷館が十一事物において新郷事が、首相は歌一歌に仕孔を百名の野社警覧を配置

に鑑み、内部省、野説顕華關係一である

今冬酸質問度までに急慢する方針 を明することに決定した、新郷祭

き、昭和士二年度**联信省所**管一股

【東京電話】鑑信省では六日午前

二千餘萬圓

規要求

て一、二の重要関策を決定する一なすべく目下打合中である。
可及的連かに関策開議を召集と「京、既は途中に於て都務の引線を

際勞働會議 が各代表委員決定

地方神具飛門所理事官地方神具飛門所理事官 八日筥崎丸でゼネヴァ

中部的に回む四方、資本家、労働

代表、顕微、原則は六日左の如

人日神戸経緯の宮崎丸で出版する

機關帝國邦特別郭務官

家を徐く」明問、随即は死る十

関斜の見透しを含めて提ぶする総一急いでゐるが、全部で三十項目、 批述の前半、即ち十七年度までの一針の下に、目下起感數字の整理を 毘師他界は、明年度以陸昭和二十一で陸軍では明年度一般新規製末段 |他の前半、即ち十七年度までの||針の下に、目下鋭感数字の整理を||年にわたる第二天陸軍國院充備||算は十日の開放までに提出する方 東京茂助・動和十二年度の壁成一本月下旬になる物様である。而 一日までに提出

四周除勢劍總副帝姆和務的 使用者側代妻委員 使用者側代妻委員 以下 大阪 文建 時 中国的 大阪 文建 時

分利債 第五次で四億圓、三分五厘

これで高利債を完了する

和服にくつろいだ南總督

(東京中野の自邸で)

A

M

電力國營の基調

○京東| 二十四年度及び二十八年度中に期 | 二段六壬三百餘萬回] の第五次伝 | く決定した。而して今回も前回同 | 言風防に思いを致してゐるのであ い結果必然に各國共廣義國防線 か必要となって来るのであって

来る、即も一般有事の際に於いて、なかつたならば、照録目的質能とを配する助力として、特だ交流軍 顕述すること、永遠の平和を實施を出上了自 することは前に希望す可含ことで こに続きば総院院就能を属すは織いてること、永道の平和を實施 に配を買す者あり、國家が危急団 はあるがそれは一個の理想にすぎ なしと聞も平時上り其の機性を挑 を中産し得る工業力生産力が伴は てもこれに影響するだけの策略品とを整備しても如何に兵政を増加し は夥しく膨脹するのであつて、 に東備を擴大しても如何に査材。
整しく膨脹するのであつて、如 工業温泉化學工業豊富力の唐製、從つて此の段階に配いては軍

| 関係である事質は雄獣に此の事質 るべからず、電力問題の機能亦此 政策を論ずる者は須らく前時間間 を物語つてゐる、故に表國の經濟

一個 て國際生活の安定と産業問題の促進とに致すると共に、一個有事の企 選とに致すると共に、一個有事の必 選とに対するを実に、一個有事の必 こその (2000年) と (2 置く民間信利企業形態を以てして 豊富にして低廉なる電力を必要な いのである、故に電気事業の形態

即ち平時に於ける國民生活向上、 産業部院健康の背にする電力顕示

問題製者の分は敵領しない方針で

政府語のものの割富を減少し、民

にたるが、その時においては

右の結果出質所有者か全部聚替地

数の部行譲が組織の低遠歌より少

飛潜艇券のもの單利

夫匹は今皇帝からの返却を待つれた。これによるとモリッソン ト・スーダンに登壁。それから に出産▲一旦アングロ・エデブ

皇帝に報告

ギリシヤ首相が

獨裁宣布を

▲エチオピア公伙館政ともう一められてゐるものゝ如くモリッ にせよ、この飛行散数は脊々進取止めるかも知れないが▲何れ 質に大腔型危険な組みなのでア取だとの事である人尤もこれは 態上故國エチオピアに家込む段 **近折衝を遂げる習でそれまでは** ~~・モリッソン夫人は同郷を

オス二世に拝退匈殺武布に帰する

「現代表の認定により重要が送の被「国際として電力は極めて重要なる」

摂以上述べ来つたところは平時

般、肚麻、粉米等に厄力を慰用せ 於いては、電力機用によつて此の んとするもので特に我国の如く既 されば。同村最興は百年河南車替つ 低下してその建直しを崩するに非しるが、製造の範囲は小銃による歩

用として應用されてゐるのみであ るがこれを在来の木炭ガス等に比 は我国ではまだ一部家庭用一葉

生酒に極めて跨援な鵬館を持つ電見るに至つてゐないが、我々日常 次に我國ではまだあまり喪長を

|提唱と掲依つて際事態化といふこ||釜館記事より画行して既村に財す||代館画等級の観立書クラウゼ・ウである、交近朱明譜を角形展画の||込みはない、須らく電氣事業を公||に於ける顧問上の他位である。近 である、公立次明部を再形態もの)込みはない、須らく電気事業を公。に於ける顧明上の地位である、近一點の實際をはそれ自識的して以てる語力に思する意式が従するわけ(は鑑算上記书に思力の都技生の記)重點数を有するのは一頭有事の際。既生態、産業制深に於ける電力限

服御の型を決定する』と言つてゐ

イッチは見ゆる時代は一つの

脳防上の地位なりと貸すことが出

錐化をぞれた、難したのであるが、使命を荷質ふものである 例へば意安は火薬に、交アルミ

洋の東西を同はず時の古今を論せ

間] 在ワルソースペイン公使館 等数配官カベルレロ氏は五日鮮

脱る今回の批濫 れてゐることは

しまつた。バルチック海線は解散されたが、その思想と観念とは皮 おいて、バルチック海沿岸地方で 取分的た労働が仕の観念は、厳争 人の胸に芽生へ比度行に移された 世界大戦中ドイフの少年既は婚 勞働奉仕(三) 発験失士たちの血器植民の

說

考するところがなければならぬ。以て、その理想と光明とに既て賦 想なく光なき歌音に、永遠の若さ歌音においてもさうであつて、理 と不概の生命を表むることは出来 政治の楽器を称うる語は、先づ 政治は、双、永遠の現在を建設。 現利々々抵告である。被的語が頻 政治は複雑性に対対が得る。 夕に収越せむとするのが被治器の 昌榮朝鮮の原動力

維原料國策確立

對濠通商問題から國民運動

としての原料自給方策 商工省工務局工政課長 小

しかし、政治は今日のために梁「日生、現在生が版型である。」

「最低級であればあるほど、この今」 は治者と被治者の永遠の並行級で永遠の現在歴と、永遠の明日性と 被治者の不解はこゝに胚胎する。 現金主義だからである。今日行ふ に建設しなければなられ。繋部のいてはなられ。永遠の期日のため て止まない。頭に降いた種子を、 ところを、今日即類代償を要求し一築しなければたらぬといふ、並行 て止まれ。即ち、被治者の要求は あつて、治者の低きはこゝに存じ、 ならぬからである。 そして、それ 子孫萬代の幸福を招來したければ ければならないからである。また 無限の軌道を歩まねばないね。 永遠であり、永遠の監察を図らたればなられ。なぜなれば、図家は 治者は永辺の明日を建設しなけ

決して「跳続」を意味するもので一と説いた。そして彼の興へた秘策

政治の複雑版の型がは、この曲

活指針の妙機

那らない。最も聖波なる政治は、

ある。われらは如上の見地に立ち 題質の施戦の跡をたづねて見たい 永遠の住活安定を興へることで

大地に根を下すことである。大胆 に五世を宿して配かざる問題に、

工業之一

田本的必要、國家的試調查 一時機場た不振に陥つたが過速の 技術の歌良に批形をかけ遠に此の

語上の直路が生産

容がに具能能質行に残されずに違ってのは生物の潜性であるのか、 郷の要求に其の誕生の場を越して 過度の世界大阪中、交後原料の弱

上の報復原題は事質として我入還「封銀に膨起して展明したのが、即夫れはさて指含今般の穀景通商」芝に苦しんだ優遊が筆毛、穏花の

接術上の關係(品質の點)等から

社らる A用語に能ふ)がさらであ
粋(天然的なる職科に對して使用

に今日に及んだのである

の母業連貫脚壁居団民館前頭を残って業員、投言すれば二葉成割の大っかから日の即題である。耐して之の知さは其の一例であらか、今回の二は脱刺を充分に持ち合はさぬ」て影響可収益なら方派を誇すべき

とせず、我國に付て見ても昨年の「國に敗退せ的國民であることの間」て賈瑟の仲錫に立し延て国道の陰

出に必與し仰るかを具態的に考へ 等の国忠殿特供証源を賦佛し併せ

脚窓と周標に日本国民の都を國民。が其の職物供給製に付て根本節省メリカに於て行はれた日本人就居。からの供給に依召して居る工業機

機に塗むしてあるのである。

加奈陀に到する通商推護法の観測

品目の関格引上げを関したのであっつは我日本民族は和何たる外部の 豪洲羊毛事の輸入許可配及三、四一ならの二つの基本問題がある。 一

見えないのであるが、吾自らを思 以て我語の前途は我語の力にて打 大部分は、我將來を自己自はして 開拓する場場を除く結果、他力に ふとき、要等は難に異質の続い民 うが、朝鮮の地質に開製せざれば 丁民衆は如何たる塩酒に置かれや てれ即も遠土であるといふ退災主

一批手情観して居る際には

我に許して別た日本としては其の

れて来て居たのであるが、影きにれられ色々の質行方策が案出せら

繊維工業の設器を以て設定自他

1

げば

選挙一切の過去に於ける認識節題 無貨的他力主義と、退場所以上 ればならぬことを収置した、 於て製語は此の如言

我毒は「今尚民衆の」ことであるが、予一個としては、一ではたく唯我等の自立的舞力如何 的環境を如何に打開し、向上更生 て、希望あり生甲要ある世界に更なぐり様でなくては、我民家をし 去に到する熱器は、職子としてか を称ひ純質を渡したるところの過 語さるまでは、元献を添い、関南 自ら自己の面上に確すの思ひして 生せしむるの不可能導たるべきを 『観響の戦い国衆』と呼ばざるを

の るので 大自 樹 だ、 大光明館の一村バムキ は住民の物持である 一百五人ですぞーパ

る、耐して破ら必要なる質力が成ってと思ふが、自立とか、獨立とかによりてのみ解決せらるべきであ」とあるは問題を受する予念であら 世界政語の動向を築するとき、我一文徳に、新時代のそれを無敗し、 等は日本民族と滞然一般とたり、 は、我等の徹底せる沙害を第一要 の自立的質力を瀕死し得ることを である。からるは日本民族が、我 概であり、子が身を以てこれに當 るのである。個り耐して我等は先

の バムキンセンターの犬に持つ ベムキンセンターの犬に持つ 度の商質だといふとになる、の自嫌期で小僧が走り題る程

永道の今日を構築して歩いたので、み得べくもない、たとへ利配の共復に永道の関日を解説すべく、。も、開着の虞の融利は、団より聖 新たに日鮮民族に異へたる使命で一つ人置へのテレスコープそのもの るべきことは、方今国際専制が、 終日鮮民族が一般となりて、世界の風の急を耽く所以である、然から 通を感得せる一事一物に励してさ 図から別記章 ヤールス・モルガンは後 ヤール加重を受けた。この ウール加重を受けた。この ウール加重を受けた。この である。 では関ビローンドンのブランス がにフェミナ賞を受けてある のである 一は白腿以てこれに報めるだけで 師工作と、訓練を含さかければな **脂肪といふのではたく、藁に内地** といふのである。これは民族防器 生運動は滅に減難に設備せる二十 とに続けていのであるが、我等の此の新 着は 人動聴鮮人の日常受渉の間に、相 は勿識、殴く文化能に自立する弾 日鮮民族が一題となりて、 一新くの如き点 然し子は必ずしもその魅さを見なの新生運動は、民業の世感に對する。管を反らして優くもあらう。 るのが常感ではないか、故に我母 提明した、子はこれを我等の新生一て、その規則生活の基本を、心の のいふなるカルチヴェーテッドマ に流したいためである。元も子自 育性を利用して、新生運動の激展 をも借用したい、それは宗教の レスコープの映射を、その鑑取つと、漁船を有つ賃であららが、テ らざるは、このテレスコーブが既めらざるは、このテレスコーブが既 インドを目指す程度のものと見て 経済生活と追儺生活の一元化」を一希望の灯を興へて、以て民業とし 身の要諾とするのが通例である、 て無批判に、自己一身の身歯を駆 一、新人生觀の確立 とに総談し、自己の生活を聴くす ちテレスコープの原射を以て、最 体能から来る諦めと、確認とを保 宗教家たるのゆゑを以て、心 虚無的に、自ら、際光と希望 爲めに或者は自棄的に、或 例がの地面も確認も観察の果然は何者の他面も確認も観察の果然は 家は家族制度の延長である、國民 **断言して** 運らない、由来東洋の画 形に放ては、内鮮一家を結成して ば、その實、その心に於て、一家 の日常生活には、そこはかとたき で、この弊を構むるの理念を聞べてゐない、予は我等の社會道德の も、家族とはいくない、心的に の錯聴を持つか、子は「未来」と 我民風に於て、姚如せざるまで 、内鮮一家の結成

8端 洲 族 行 餘 談 8型間車の實着な擧る 8最近の満洲を観て

社長

釋尾東

邦

圏蚊ど マラリア……

小兄の歩行異常

英國に於ける兒童保護事業……アーサ・スタンリ

……或大数 松月秀雄

「廣田弘毅傳」を讀む…

月號(第三百四十五號)(4ヶ野」於斗鐵)

頭 瞬間 田中徳太郎

霊を萬葉深人 弘法大師………が欲しい

朝鮮文新聞紙の現狀

■呆城附近の山登り

本誌記者

■牧世軍の育兄ホームを訪ふ…

朝鮮満洲の財界と事業界

●二・二六事件の首魁及關係軍人の處罰

|風聞駄語||編輯室より

■シベリア旅行の思ひ出……

オックスフオド大學の話

自頭山漫錄 門里人の奇習

城大文學七月號を讀む

大文學「第三號の月節にこ」ころが、一方この作品全體のスタ大文學「第三號の月節にこ」ころが、一方この作品全體のよったのは特殊「イルと、スケッチ風なペンの持つた態密な風俗の中で、更に「○全郎はせた」

大大告 日五八番地ト 日五八番地ト 日五八番地ト

行所 朝 鮮 及

漏

据替京城一三一番 電話光化門(3) 洲

電本工工

牙を擱く工業先進國の必死の策勲

に四回すべき間当を調することは

彩だ沢同節朗歌作業を必要としてける必要はない。ドイブ國内には の場合のやらに獲得出來る見込み はない、けれどもドイツ職民は何 もあわて、脈を國境外にばかり向 その他の領土を失つたが、これに 歴であつて我日本の主要監網たる。弦に載めて根本値に考へなければ、火た羊毛・薬の限利申共の九別以間建漑法を適用して選出の主要物の総經監に必要なことであるが、一般に送し輸出さへも担告振興して つた理不盛極まる間近に到しては

> 於ては世界第一のステーブル・フ 伊太利は之亦早遊此の住産母菜に 料の不足、不安定に慎備して居た

き、心物雨方面より之が質壊を必を強くせんが高、左の絹籠に基づ

こゝに「文版自正

併せて弱自力文化を打造うるカミー・ 文態に、新時代のそれを善取し、 ンを謂らしくして注意を惹してと がと、ことわり、類に領針古来の たが、この壁で泉箱一君と共に とが、この壁で泉箱一君と共に とが、この壁で泉箱一君と共に

である、仍て我等は左の網節五則

語版せの限り多々盆々様する農

についてその配成良否を調査

設軍の冷鱈中帯事性の直後でもあ

僅か十五%であった、遊賞局では 既なきものと認められる盛素者は

道術生課者催のもとに官民各方面行ふやら道牒を施すると共に近々 ついて飲食物の取締を一層厳密に

色議六氏の勧告に對して

かたき辭意を表明

趣に「北南南大川政修に伴ふ地元 一百五十七名は四日配設士配園

総 指崎八十二 避 金 大 均

田田田

組織し一般の衛生思想を喚起さ

・近 | くべからざるものと見られてある | つ / と訴訟に上り、際に認近東川 | 順新祭したらどらかと監督の移籍が | 等で級に重撃戦争が関連と必要は | あるといる場方がこの | 南甲米ド | 医等害通過技を開苗圏の地域に多

面食上里の遊林業治師の北陸に成一番が一時人後化して来たやうであ

株業苗南も地方版の土地だから。た、適材適所としてれたの一部大量地にしてれたが三十年の一部大量地にしてれたが三十年の一部大量地にしてれたが三十年の一部大量地にしていません。

道當局各署に取締方を通牒

合戦軍の設備は完としてゐないと

ふ悪心すべき狀態であり何等支

の教育地と目されるに至り、終来

・奥地の資源を開設するには不

は富分の間城建を終帰港に作用 差古り西部連形に百萬雄吞吐の

力を有する緊密を行ふと共に北

村知事統認の下に総役的な綜合な課で修正中であつたが五百年後に

群裸像

江陵の安木海水浴塩

五子許は成真市総の智能経路版に任一宅地に利出した方がより効果的「展異」品等普遍学技の敷地一貫「ひ受技の敷地とてるよりこれた」

ろこれが综合的戦党の結果、野 は過酸張銅線各派で立案中のと

陝興高普の

移轉話が持上る

現敷地は住宅地に

學校側も大助かり

咸興一咸南高地常州建筑につい

綜合案修正

開發案

所考三考を要するいあり再び

上の道路、鉄道完成の鴨には雷

匪賊を討つ

の各方面から設計した浩磯なもの 終頭した 郷末、土木、断生、宍門、雲伽寺 伊敬布敦 き同日生

| 資本金十萬回記度でホームスペン | 【最重】 擦然器が月代節附近に置

これに着目した質繁発性の製氏は

簡此の新散を計画し即の「坦武術 | 接して長白際後襲の機會を顕ひつ

北部各郡は殊に被害甚しく

際で調査を遂げた同道格計画に基

更に其他的な話調金を行い

内地企業家は嫌

十島の産業統制

鐘紡はレーヨン東紡は未定

開城の工

福島平壤商議會頭の歸任談

0

水調

死傷者十名を出

塩まの機能を目輪むところだが」とは正するわけで批目されてみる

繁昌 「民間領社であれば好機到来」なったがその結果如何によっては

○社文に影明をあげるといる組 | なほ道器食にも可否を削ふことに

郡農會でも大乘氣

とばかり早速夜景観はとか下場の一民意ホームスパン自動が庶上質扱

子的立で配質占山好の一墜三十億一直に城神神合に北上し本道设定に

三日午前四時時同縣頭遊崙四方瓜

然しその後が思い「江風遊の魔師」京城荒井組に落札したので三日恵

れ扱った翻案であるが起

変あるといふ豪勢なが況である。 りの大道で綱を流されたものも数

塩と此宅工事は過度見見本店で入

門は建文章、大浦の神合、一五一

間は概ね好調で特にサ七、八の

選礦場 茂山鐵山の

工事に着手

報告によれば「昨冬三時、往文

1節に入つた三型元山駐在戦から 野原の模様がない。と 向興 | 今年咸南の海はひどく蜀 | は依然強度がないばかりか記さり

入群江原道から

大豊庫開發の

あることゝて昨今では殺動「飛」近く腔動の鬱顫にこれを蹴り「新恩坊通信」るが所定鬼葬の範徴内で襲 | 楽明部上有感義なことだと好迹を | よ』との資迫

もこの増産問題には超常頭を傷ま | 積極的に事業を進めるのも地方面 | 分の食船を三日以内に翻選提供せ

被既は相當大きく旺に死傷十

なほ各部の違明型と位大明型は 降前型 一日拉大明型 勝甲 一〇五、〇 四四、一 振聞 三八三、〇 一四四、一

强窃盗お茶の子

開城値と開盟郡の七月末現在の入

「開城」登然塔の職べによる

開城管内の

人口增加

1は記計士三萬九千四百四十七人

緊急を登せることでする立場に置

開始」五日午後二時から西江側が「業の際条である丁島用地下水の際条である丁島用地下水中年水の際条である丁島用地下水

職が要望

|英七子||百十一||戸で町年間期に

東京大相撲

羅南で盛況

黙聯機またも

夜は探照燈を照射 元に飛來

緊張する東部國境

安州署から局送り

西湖津に大吞吐港の施設

局地帶對策の根幹

【安州】本籍平原沿東岩面岩赤里 | 一犯の節科者であるが昨年三月以 兇漢の驚くべき罪狀

女心して食へない

に備な飲食店氾濫

海州の調査結果に鑑みて

機の匹重なる飛来によって膨から

哲こと金剛賞"」に切迹」犯型後一體防盗を戦き逃走中のところ安介。二四六、住所周面山陰里一三三金 陸本学大月までに各所にて放火、

『丁作班は『日午後七時頃[|] 推頭第五十部、楹三本を個類し

した男捕まる

関本に集帯が使り多能にも変な感じを を対しても原理を集へんと高心のは、あすとにはすっスク は、大力に対しないでは、ますとにははずるスク は、大力に対して、大力に対して、大力に対して、大力に対して、対して、大力に対して、大力に対して、大力に対して、大力に対して、大力に対して、大力に対します。

局部的整復を加へたに過ぎない行中の北南南大川敗修事楽はこ

一萬七千国を投じて威奥西沿海線

年よ、交通整備の必要から過ご要 の入口から興南្解記までの七百七 二等道路の内、同島天棚里ガード Tメートルを製設十五メートルに

擴張認可申請

方につき具題化する飲物であるの多く近く町縄代職合館でも野野

経統にがか、つとら五日、全事出職祭をしたが、これに對し | 町絶代も田は母長の留代を思む、斑鰹酸される風靡感初の | 見し続一時間学にわたり極力幾句 | 留方を思想するところあつたが、 を詳述し鮮色決意は一切の私情をて田口召長は部間事業の運死事情 た留世間告をしたが、これに對し

興南の道路

しいと契約金として小切手領面しいから是非質ふやうに斡旋して欲

しまねばならぬ不合理が生ずる」

酒

・ナハノサ

右の事情に照して「同事業の受益

錧

作時代を終つて

一業化の機

曾社設立の計畫に對して

建郡下婦◆勢山郡安水面、同郡 | の九ヶ所に決定、旺に元山渡陵所 新興郡崎、同郡東上而事所 | 長 | 近鎮面 | | 大電面 | 大電面

咸南の沿岸

簡易氣象觀測所

今月中に觀測開始高地帶に九ヶ所

邑外双浦洞の發展に鑑み

明年度實施の計畫

路

月に完成地貫通

がし完成に近づ

第 宇地を真通すの三間が好を申号することもなり九月上加完成の習である。この旅路が明道すれば微龍山下・ナインと・インを通しなり時間、 郷光谷の人間利用は一度と増加して、郷光谷の人間利用は一度と増加して、 される機定の歴史強制立から新設 小道師場の概を通り扱けて府營住 数の中間に新数としては 帰国ローチエ音科官並代超店

竹內氏送別 曾 [建]

工場 人院随意 勲 電話(光)1960街

創立明治参拾貳年 醫學博士德 永 西州門町4](裁判所惠通) 京城德力

京城府南大門通二丁目



元で四、五兩日稲南神山下で東行漢一行は稲南米昭弘三郎氏の鶴追 【雑南】男女の川武塚山合併大相

> 出疆所 党店

あった 歴天に思まれ人

東京城府旭町二丁目八番地京城府旭町二丁目八番地

四日午後から納會を開催した四日午後から納會を開催した

野選事 三日茂山

長三旦三長往

宜率對固城

で、東京の引下は即知符に前ふや | では野親延長を交渉したが同常務は | 世色別に対して、対金引下忠 | 一

、魔梁津方面の電話特設型

上聯合強烈を實施することとなっ **丁五の兩日総合部後館を中心に歩」河遊割を行ふ割、なほ同遊割終了。** 【、印】第八十騎銃では來る十四「在鄉丁英府校も加はり大規模の被 步工の聯合演習 大邱聯隊と龍山工兵部隊 倭館を中心に實施 後十六日から二十日まで右訓練を

者追悼會と慰留流しは天族も恢復知を重ねてるた夏の行事の水観光

【差山】連日の雨にたるられて延

飼をさせ明年は甲龍地區にも及ぼ

鷄卵出荷

釜山】 盟南道以前では駅家の副 記念に一層の独単をかけて事 変技をはかることになつたが して著しい範囲を発げた道内

には、関係者等は直ちに供給に、

艦し盛館であった

釜山の燈籠流し

登浦電話分局に た、趙山から工兵部隊が魯加の外一起でとして全隊はは諸城水利組合 ・度質現する ス賃金も近く引下斷行 陳情で見透しつく

みならず路面電車はスピードが と常山町炭革動船間までバス線底長は今のところ交通量も少いの 起線生の電車切符の総付 用水配くお待ち動かたい、電車総位延 起線生の電車切符の総付 用水配くお待ち動かたい、電車総位延 に、電池が上で、大線を開発して、大阪のでは、大阪ので

と言関したので引下飲金の酸表を

れく問意契約をなした、なほ同一 下軍は年内に完成の単定であるが

も切下げて事を施す響で、明迦の一縁狀況左の如し

年内には開通して

で東地震車の結果四日電話総が覇 り迎に経済級として惺に地方の明 で東地震車の指針は道士太郎 することが出来て著しく順利とない 残りの観光事情所は道士太郎 することが出来て著しく順利とない 残りの観光が 復二間紅は成ピは地元機能氏の版一直各を辿過すれば現在来院を正過 「清州」多年の翻線であつた流州」時は清州、報度間の交通はこの新 丁事費三萬五子面で第一區樓に、 酸を促進する上に直要なる役割を

比較感、清州間は清州花田組とそ てゐる で各方面から別等され 法を変長せしめる一颗様とし、思比較感情は大明坂野組と、第二屆 誠するもので各方面から別等され 法を変長せしめる一颗様とし、思 大邱客月貿易

「大師」七月中に於ける大明の既一丁したが、最終日は龍野生二十六

くお得も類びたい、電車線路延 選集中の電車が砂を打ち、大阪でのところ交通量も少いの 選集中の関連をあるがら、大阪では、大阪ですの値利をあるが、と常田防災・環境でのところ交通量も少いの 選集中の電車がの 超行 用水銀 とが出りたり、電車線路延 選手を開い、大級延して変更ながらずることで とりが と常田防災・環境である。 舊道より二里短縮 一府方面に陳備する割 前つて引き揚げ七日は鑑道局以城 品は毛織物、木材、移人品は晒金

港が過で懸行、釜山から知事代理

X臨歴し祭典能式の後知事告節、

耶報告、祝鮮の朗離があり、次一が野や海に外出した場合綱り幼兒「鼠底と祭典権式の後知事告節、」むためその都庭の開墾に家族会部

家庭的努力は一層地言を徹底せし

人の精魂凝

る防災地域工式は五日午旬十時報

各面に増設

價を出めてゐる有望前業である 地方面に旺に移出され範節の聲

社では機能に貯穀されてゐる

で許可となった、組合秋の牧札ま

田荷と何料の共同斯人幹起に置い合い目含せ原識を明さ、

野な人氏を始め官民多数隊服の上は五日午後一時から制馬山街戦宇は五日午後一時から制馬山街戦宇 上棘式

期に直頭を催し午後三時数回 動行された、 気後引動き取

四地區数節を招集し去月廿六日か 【清州】既報、屋新式の程间管理

一千人の心からなる。密附と俳像製一般開展式を行ったが、俳諧に同日

河東郡廳大勝

固城郡廳軍に先づ凱歌揚がり

税金が高過ぎる

○招待し盛大に落成式を続行する

係名を扮樂し林業歴歌館を明鑑。

「永同」郡では三日郡を調塩に郡

江華】像で新築中の地方粉度局

煙草販賣所落成

カフエーの悲鳴

轉落すれば税率もこたへる

(羅州) 羅州默蒂朗宇宙、本計屋 州 支記後接でニーー、三四日当公 前の施税を推進第一回中時改等大 音は既に正陸坤方の人気を呼びを 前の施税を推進する人気を呼びを

慢勝の浦項署

三風▲賞品 優層族、副賞別日 八月二十一日▲参加金

| 新で統章怪取、第二眼の宣夢

判を始めた、既行きは注目されて

馬山の電燈

【馬山】朝鮮ガス電気電批馬山文

食店の登板を真何に振りかざして一店は昨年末から職員を絶動気して 然は蘇策が立ち行かねと最近の銃 松務當局に到し真分の六十五の課

今秋までには操業開始

日下準備に大童

群山で業者ら陳情 | 別後 | 回に望りメートル調利用地 | で (他の 肺部に 男めた結果、 男山、 島 (他の 肺部に 男めた結果、 男山、 島) 人百馬力の増加をみた、 現在 記象 は府内一萬八千座、池水、島脱二

「表向】都では五日から向よ五日」を授場し野打護災事が誘門を開館。 | 対人同人整接が事が結構者 | 隠に直り郷校田舎堂に郡八回戦校、前祭鎮は一朝三分二厘、を領は九

無州驛の乘

元の手で除幕された地蔵登

されてゐたものである(智興は雅

ての数字は左の通り

廣州支局で

たで目下連縮を急いでゐるが、 aり本並選州支局では金剛山琛 【照州】登山琛暦の好シーズン 開員を募る

|上記が所を設け保護に除頭するこ||五萬四平間。長衛二萬九子五百圓||のため||鋤げない家庭が、名い觸線、第三種所得税を決定したが底線入

巡の場合は近畿ながらお願りする

意外の不振 天候不良に祟られ

統營の業者は悲鳴

を開催することにかつたが、講師 「江華」即では來る十一、十二の

時的對症的療法は病狀の

は天饒不良のためすつかり提はず一心の修復であり、朝鮮では初めて の大鐡造佛盛であるので信者のみーは佐田京畿道監察主事である 鬱陵島沖で遭難 機船は数はれたが

の一)去る一日電路は四回台路洞 【大甲】布上遊離二重奏――(そ】て本格的に耐防に乗り出す 折からの遷番と跳退のため町 芸芸連分外四名の栗組成は全部 なった る抗納等上加霜では三日夜からの 【統営】連日の雨で頭を縮めてき 統營の暴風禍 棉作に被害 位置を示すの分泌腺の

3したが温器と測浪のため手の下 その二)同日午前二時ごろこれ 海上交通は回復した 社神し成器と明花期に入つた相 り四日銀路に海上交換

鮮内で初めての大佛體

大邱大休寺に安置

想識を観察することになったが、 松果腺 甲狀腺

日の六氏で八日砂九日節者の宮大抵、河村大類、李保申、平田京 土屋前位尹送別會 讀んで

巨濟漁組長

止郷、現二連面長河先換氏等で早 組合長金築洙氏を初め河必洪、即 令十三日と決定したが**立族**組者的 「統督」三済漁業組合兵選続は來

これが人間の盤に元来そなはつ これが人間の盤に元来そなはつ これが人間の盤に元来されてある。 解は、自 郷本を治すのではない。 難は、自 か 然に値は、整能力を助致させるは 結 れたらきよりないのである。 てたらきよりないのである。 て

結局は、抗病力を順内に充實させ、でも、質似でも、早期を懸でも、 する房は――結核でも、胃動病

あらうつ

ことが被長であるが、しかし一月 一込みの事。(NN3リー160) に 能力づける 民地は接替東京五六八 二輩(地)を がっな果、 訳本 所道道で縁起する。但し神外と 民地は最常児京五六八一二番へ挑 所資鑑で舒遮する。但し海外と植

お し恋外な故障を思す感ひもある。 世界 から、後になって知って強闘を関から、活動させるのだ が 優能を困難させるのだ であいる 後になって知って強闘を関

早老虚弱を醫 胃腸病も快方

物ホルモンの應用はこれ も真から治療し得ぬ 節に拘泥り、 **以し基本的體力的療法**なり 副腎腎臟 いつまで經つ

7 S CO 編もしんから強くすることができられ、心強く病薬を治し、臓器な 色良化、便迪の鑑ふなどがすぐに心細い薬とちがひ、食慾増強、配 一十二月のんでも反應がないとい 戦るから服用者は回復の希望が静 健康狀態が判

利益を得る記述 卵巢 ネオネオギーを設設せる日本変生物研が近は管利のみを 目的とすらものでなく、現上 目的とするものでなく、現代 受験の大型数据の計構の下に に発売な蒸製研究に発却して ある研究所であります。 る尿の檢査を 無料で奉仕す

胸腺

膵臓

支配してゐるものであるから、い 御の一として一般の確保に題かっとして一般の権法にを おの一として一般の確保に題 とてのますが、特にネオネオ でもます。解紙の期報な権症 法でするの類別目的に はでするの類別目的に はでするの類別目的に はでするの類別目的に が、特に表する。

瓶に一枚申込街旅行す

も、その接腕から治すことができ **検定にも應する**

『但し班振機定に限り有料』

CONTRIBUTION (CALIFIZACION CALIFICACION CALI							
平壌道立路院	グッドリッチタイヤー西鮮元宮排所本社 平壌府鹽店里電話 二三三番	一階大衆食堂上ペピーゴルフを発金町で襲黄金町で襲黄金町で乗金町の二番	・永柔十日會	平壤材木商組合	平壤穀物商組合	一个	號五十百三
7 (200 (丸善石油朱式會社西鲜代理店		雀	子	市橋齊		# - # = # = # = # = # = # = # = # = # =
機・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		順川無名會 平南順川郡	東川東州東川東川東川東川東川東川東川東川東川東川東川東川東川東川東川東川東川東	で現所外格野里で現所外格野里	・ 学院が大同門的使所長		角
中 内 平 壤 煮 呼吸 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	金融組合聯合金	等 城 醫 師 會	金貨	熊平 褒 券 番		期子 米 大	三周
平 壤 郵 便 局平壤遞信分掌局	高 元 醫 院 平 選 佛 教 命 平 選 佛 教 命 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	郭	大同警察署	府會議員米田鈴二	大· 田議謨工業所	中國於政政司 清地	
Time	が木、マメント 武内面 宮 木戸鹿之助 平担住地町四と地域で変形を 地 梁 材 料 ではた地域で変形を		金線	平寒醫師會	本	游客藏住 七百村 原名。 中籍的老校司二届的基础的	三九
大同郡農會	村集 組織 村中正 一篇 村中正 一篇 《	電話	内徳ゴム工業所	平壤公立學校長會	平條所機則大土三番地 平條所機則大土三番地		創
離平 寒魚 菜市 場	平壤崇仁黨學校	平壌府鹽店里六二番地	下海拔腳上 本 店	子 原 通 縣 株 式 會 社	松. 尾 正 枝	下經及前三	萩I
	寒 崇 實 學	大平康造株式會社	地方 (BO 11 11 在 20 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		奥田英一郎		3城
平壤府新里	平 獎 府 新 里	熊箕城券番	久田支店	本店平壤府大和町七番地 、	度高橋礦油店 平壤出張所 平壤出張所	本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	京
平壤洋 機工業類組合	大型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型	本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	中和郡農會	雞林商事株式會社 堂 員 一 同	1: 03	等。 等。 等。 等。 等。 等。 等。 等。 等。 等。	视

・ハリン、東京電域―山本護槍我に日本女子選手最初の入費

山本嬢の入賞振り

ベルリン同盟権が武闘の四日子後十時十分日本時間)

開通申込度は登職で約三萬に上り

と響いて昭和十一年度の電話主念 | 可能の状況では各方面とも不便で

こともに総話加入の申込数にピソ

申込に對して一個にも足らぬ施設

「路産業異態の波は、文化の遐聴 | 度に擴大して二千五百個であつて

遞信局が通過に努力

泥棒女送局 萬四千圓

生ける婦となって各町を彷全標準 | い現院にあるので、本府衛生説で | ると約 | 百名を先づ教容して厳妙

それに豊する新可腕談談は膨大限 | 空なこの幕葉に對して建算の上で | はれてゐる手提金翼を摂取した釈明通申込数は空跡で約三萬に上り | 整信員としても採算の上で最も安 | の土地散却代金 | 萬四千間がしま

村上六着、失格

2フインレイ (英) 十四种図(オ リムピックタイ記録) 3ボラード (米) 十四种図(オ イソーシトン (美) 5リドマン (対集)

京城から

モシ

リビのお話

朝鮮からも國際電話の計畫

遞信局で來年實施

米タウンス新記録

百十米障碍準決勝

·原田正夫(H) 一五米 世界 ÷配錄)

▲第一組 - タウンス(※)

ーントン(英)十四郡七の村 カドマン(瑞典)十四秒五3ツ

ランド)三分国十七神八 1ラヴロック Citing

2カンニンガム(米)三分四

| 内地各部市との通祖が開ぶ、批選 から實施することになつた、これは各方面でまたが不るる、これで | 歌では立衆に愛手!これ、これは各方面であるが武器の | の関係で広境から黙難語図は勿論 | の関係では立衆に愛手!これ、これ

は別間に案を樹でて昭和士二年に

明年度には實現の

精神病者の收容所

强制的に看護、監視、保護さす

京城の郊外に設置

は今年の約二倍半にあたる六千脚

期することとなつた、これで大戦 の規設を企てこれい通過に真全を

に申込の設置を総称されるもの

刑待されてゐる

印刷電源の外に、現在展点、大阪」と即歴に通話出来る場になる如く十二年度に貨地する記録登録「米國、順洋あたりまでもモンノ

來年は電話を

八千開通さす

は各方面でまたれてゐる、これで「歌では立然に答手しこれも十二年」ととになったが、例単でもこれとは各方面でまたれてゐる。これで「歌では立然に落手しこれも十二年」ととになったが、内地では彩信音が昭和十年の必要家で持つものでその終工。 世正を計ることとなり歌信語で扱い 一年度に重要を設定として興内に題大なる必要を持つものでその終工。 世正を計ることとなり歌信語である。 たが、内地では彩信音が昭和十年の必要を指令といい。

一年度に重要験策として瞬内電話

干五百米決時間位左の如し

千五百米决勝 世界記録出づ

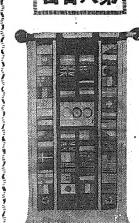
十四秒(オリムピック 上正(日)(失音)

下西技百十米時候供決路成総左| 並に世界新記録) 2リ



王郎を死守し、三座進即の祭廷によって『珠斌日本々の威密を示す』と記蔵院のオリムビアク第六日――けらを祖國を賭けて三敗議の 高く揚げよ日の丸!とひたすらに沿ひ、待ちわびてある。やがて蛇 朝からスタンドに押しかけて、低迷する暗弦の下からメーンマスト がちであるが、日本軍英族の総説に配はんものと、野人勝辺駅は早 符記の日だ、ベルリンスタデアムから見上げた扱い空は今日も盛り やうであつた 島主將は、群に眼鏡の曇りを拭ひながら故國の空へ遥かに瞑目する 勝の意気でフィールドに現はれた大島、田島、脱田の我が無脳トリ ―全スタデアムをゆるがす拍手とそのどよめきの中に、わが大

日六第



跳躍日本。王座揺がず

島殊勳

熱涙あふる、おう!『君が代』吹奏! に入れ。 八類未踏の大記録

遠に來たその日、遠に見た大日童 | 五米八二の日本配番記録を破る歌 | た、わが羽人雌滋融の馳荘はもと | 七六米を飛鶴して大島岩の持つ十 | の外、符盟の君が代を解炎せしめ 大島選手も十五米〇七を跳んで、 之また十五米六六の好記録を出し と絶過の風を送つた 酸天龍な錦裳に對して西語の拍手 4サンロマニ(米)三分五十秒フ

(智蔵は田島盟王)

これも獨逸へ 揚沃勝

のマンゲル選手エギプトのツルニ からドイツホールで銀行、ドイツ 日午間八時(日本時間午後四時) ー選手が夫々段階した成線左の如 **単重掲へ ヴイ、ミドル 骸狭勝は六**

- 田島恒人(日)一六(3メトカルア(密) - 玉米五〇 | 4位 組 - フィンレー(第) + 田島恒人(日)一六(3メトカルア(密) - 玉米五〇 | 4位 組 - フィンレー(第) + 田島恒人(日)一六(3メトカルア(密) - 玉米五〇 | 4位 組 - フィンレー(第) + 田島恒人(日)一六(3メトカルア(密) - エ米五〇 | 4位 組 - フィンレー(第) + 田島恒人(日)一六(3メトカルア(密) - エ米五〇 | 4位 組 - フィンレー(第) + 田島町人(日) - エ米

五米

つせ

日本全勝、大島も六位

ータウスン (米) 十四秒二

高障碍决勝

界タイ記錄) (オリムピック新、世

マブセニカ(チエッコ)国○1、四百米第一整選 「五キログラム」、「五キログラム」、「五キログラム」、「三流軍は「はくも失格した」、「五キログラム」、「三流軍は「はくも失格した」、「四百米第一整選

より問題されたが覚異次の通りわ より問題されたが覚異次の通りわ 「加」四十九神六 ョーリング 「加」四十九神六 ョーリング

6 ユレス (英) 三分五十一秒四 3 アアグ (以上オリムピック新が像) ログラ カライ グラム (埃) 4エルーカ(英)三九七、 元 (題) 三五二 五十 (後)三七八、五十口 正キロ の日天須順則で絶好のレガッター 遊でモノタイプとスターを八米九

日本時間午後六時半からキーハ

六米九〇で三回版を懸行 こ

ソトレースは 六日午間 十時半

財部三井棄權

目和であつた。このスターに出場

トが所ればくも災がした

したわが財部三非難は途中でマス

ル (分) 四十九秒三 州十七秒八2フッツへ加四十一 九秒3クリステンソン (デンマー 1ク) 四十九秒三十 相原型 マ (月) == 失格 ▲第六組 ープラノニー (月) Ⅱ (失格) 四十八秒六3シエトランドヴァ四十七秒九2ランプリング(英)第六組 ープラノエラク(猫)

ブシユ(海)四十九秒3クル(スエーデン)四十九秒3クル (佛)四十八沙九2ワツヘンブニ明八魁 ー スカヴィン スキー

四百米第一豫選

女子八十米

|ウネニスキー(チエツ | 「ブアラ(伊)十一砂七(オリーアンリー(卵)四十 | 『ドイア・ピー 障碍决勝

◇ホッケー選巡◇端琉選巡◇ョット

対既止を命じた だからいはな

れた掲句、曹家に宛て孫三威曼の る五日早朝、服事験を非先は独督金を殴ひはたした昨今は途方に暮、然に釈罪の附近を行ふべく、雨途金を殴ひはたした昨今は途方に暮、然に釈罪の附近を行ふべく、雨途をといい歌を求めて行つたが、所持、寺につき殿重な取割べを行つて末 男闘主
對は六月四日
製材の
成態
不 | 出が山龍する
青緑に
細路製引法
際 良を否にして家田、満洲国のハルーでは管内にが喰る不能者、容疑者 A.城渠园町五〇版版土平明美氏長| で取調べてゐたが一件門頭と共に 万曜女命月來(こ)は引聞き細路時 个 京城冠空间正五宫溪街夏福五

小良食器の

のたが、内地では漢信省が昭和十一所持の三重馬懿名町三重珪環館社 から購入した金融製一手館価の販一端へSOSから購入した金融製一手館価の販一端へSOS 果、研内孔徳町三四位圏元で同人|闘求をしたが送金がないので六日 内の一湾飯様を行つた結果不能者 男があるので配山岩壁が内壁の結 の衛生上有害な企器を剪つて歩く 近原形内谷所で甕な色の塗ってあ **販賣禁止**

事ぢやない

毎日別内各署には十餘世の統
難国 か問いて起り、一方コソ泥も概行 の頃の京城には帰総などの怨野

みなぎるオリムピッ ◆……即大龍大主で ク熱は動すごいとあ

ものかどうか 城のまん中で様だけの御始人方 おれは晋尚だク、クわしはオー エンスだっとわい/ へいふ 蘇程索の斯の坊や連中がり

日ある女生送が旭山器に願い出 いですが如何でせらかっと た、幹部殿、頭をかきくっそ

3テイラ (加) 十一砂七 (同上) ・サスツトニ (株) ・サスツトニ (株) 3トイプネン(茶) 七〇米七四 1ステック(海)七一 米八四 槍投決勝

× 12 × ×

% 3 6 % × × 11 ×

各國得點表(六日日)

競运 投始 百五千 計總

命上

例會=八月八日夜(例會は母月八日夜です)午後七時半から京日會議里で開きます、建議の官です、お暇の都合が出来たらお遊びにいらつしせいたのは遊びにいらつしせい 午後等時半迄に西大門署構

内底境場にお集まり下さい、午後四時に は節負するつもりです食品(金二十代) 昔日に石井県田門下の女気前進舞頭家 当 着日に石井県田門下の女気前進舞頭家 当 です食品(金二十代)

6テリ1 (米) 六七米一五 5ヤルヴイネン (元) 六九米九八 七〇米二〇

赤痢流行の悩み 順化院に看護婦不足

午後五時)からグレネワハトで驟渡だは、六日午間九時(日本時間 行、途にドイワのダントリック中 近代五個競技が終日の四十米版が 田財 (世) 田五貼 田財 (世) 田五貼 日財 (法) 五五・五貼 日財 (法) 五五・五貼 門・山路 不足を告げてゐるので智識が若女 昨年の脳チフス流行に代る本年の一個行し親越者既は縁者をして 人院忠善殺封し常遊石護婦では手 詳細は同院父は肝病生婦へ聞い合 名を宝魚製築することしなった。 選長的赤利の流行で京城町化院は ある を法規によつて命ずると共に、強縮的に收容を行ふべく、立案中で 六日夜十時頃京城蓮菜町三ノニ 廢人 の空間、屋、屋

老婆の重傷

紅雄選手はモノタイプで第十八位

間三十五分六秒 (海點九點) 十八位膝村紀雄 (己) 1

己、四十九秒六3ショア(南詞)

ーダントリック中尉(獨)
対が設践した別位左の通り

マストが折れ

コットレースは六日午前十時卅分

モノタイプ三回戦

藤村選手十八位

12 × × × × 12 5 2 × 3 2

手は六十米に逃せず途に失格した

獨ダ中尉優勝

間投降巡に出場したわが航野祭

植野失格

4 1 × × 6

(日本時間午後六時州分) からシ

ルマンコースで駆行。わが解析

撞球大會 競技會も開く 一重選手招聘 十字病院で手當してゐるが、言葉てゐるのを附近の人が遊記し、赤 その他に観光の重傷を買ふて倒れ 現場附近の石間から落ちたものらが出ないので身元は戦らず、傷は 先至地に八十歳 はの 盛さんが 間面

| 6レンブ少尉(独)

レスリング

3アバー関的(他) 2レオナルド少尉(米)

レスリンググレコローマン競技に グレコローマン競技 声脳二回郷へ ・ルにおいて同好型三百郎名を招 長谷川町日本キリスト数書年間本 大谷川町日本キリスト数書年間本 領拠手、全日本スリークッション が選手、全日本スリークッション り同遊手の釆城を機に金雕アマチは我が國野県のየ蝦威として定済あ 得の上公別される三重選手の要技 選手服者三重初天氏招聘攝球競技

待合室に死人

兇狀持ちか?

において開催されることに目下京 造であり値塔の向上総道の一助と 城値駅業組合において計載中であ り近く経設と共に秋季大宮を温す ラー循環選手艦を看林二回京城 強盗續出て 齊檢索 成一の名割一枚を持つてゐるが、が死んでゐるのを趣心。 懐中には らしいので原籍地に開館してゐる調べたところ的料四犯弦天使でも

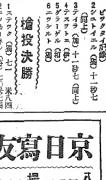
後一途顕微に赴くとになってゐる 鮮本地を訪れた、同氏は五日七十 時局軍事聯份乃木會器的拜志幸太 形氏は駐南皇軍駆制行脚の途次来 ぎなし七日は胎師で離師を吐いて 人婦隊と巡信局で時局問題で勝成 拜志氏講演

等學校生徒尚野一郎氏ら四十 鮮兩支線祭園安東豐 團體往來 ▲ 國軍大學生徒

◇……しかしだ。所もあらうに立 …っあたし原相撲的を明さ

晴れたり曇つたり 今日の天氣





八月の例會と撮影會

程 孫 用

洋内

朝鮮總督府製造 社會式株捌賣元精藝

岩井病院

原田は第一

決勝に入つて愈上好鵬を示し、田

わが大島、田島、原田の三頭手は 跳躍日本の牙城を死守して立つた 解・強に聞いたむが代の吹奏

製造手は配終回途に人類米路の地一一撃士二點を獲得、二本の段勝派一

することとなつた

出場したわが岩崎秀市選手は、第 ルソン(スエーデン)選手と樹龍 | 四戦は不戦時、第二回歌でカー

> 水色解待合品で五十歳位の朝鮮人 六日午後五時頃、京城四邓太変線

けふの種目

五 香卦盤

持時間各九時間 消費時間

E

「監備釈耶教を辞見させて頂きす

と云ひ何ら入つて来た。

國は九四同者逆の局面

大段マ男

歌

縦さんの、あゝ、そうそ、そうご

職士と云はれて、やつと思い出

の前に立つてるた既一郎には、

スーツケースを傍に置いて佐

開催が呑み込めたが、故意目輪

「何方迄お出でふす?」地まりか

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

蒸無断上渡吸

歩いて来るのが何かの大郎しのやしと向ひ合つて腰掛けた。

のか

も知れれと、何

印か思案する 佐田は周一郎を努めて見ないや

熊術を考へねばならなかつた。

でないと解ると、日陰子は、次の うさいた。このではれおいせるもの

概念してしまった佐田は、蒼白

ニュース・天須見込・職

佐田の町にはあきらかに漁根の色 佐田は、閩一郎の持つてあるべ からしたことはいへない――一切

『すあ、宗像さんの!私

同

放

七日の番組

一奈良小園より中心 一奈良小園より中心

放送

同七時一〇分 ラデオ盟操 郷(六) 神保 如天 神保 如天

同一の時三の分(里)家庭護鹿

となり、どうも受け切れないと思いかとも思ひましたが、ここで九

フオード工場で 再生UEV-8Iンジン

新交換料 ¥175.00

此の部分品全部がフォードV8

再生エンジンに使用されて居ます。

交换料 ¥175.00

平南自動車商會

平壓府濱町五

消津 府 彌 生町六

ウ

-

會

商

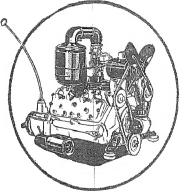
丸

ホールを要する各位の

ード自動車會社に据附け ンジン驗査機其他從來デャ

相俟つて新エンジンと同様の經濟 の背後にはフオード自動車會社の 保證に加へてサービス上の便益が あります

このエンジン交換に闘しては 最寄のフオード特約服賣店か或 はお馴染のガレージへ何卒御問



フォード特約販賣店

店 本 商 京號府岩草町大通

大 商 全别旧本町-丁目 朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 釜山府祭町一ノ四一

成 鏡 モーター 商 會 咸興府朝日町一三六



の疲れ、朝

のんで

0)

調子を

恢

午後八時廿五分

謀本部陸地測 万分 1/1 量部 發行

вене

翻載はるかに輝けば、騒長ばかり

煙頭玉、紅毛、洟を搬ひ、一朝、我れに事あらば、大

三、坂本龍馬

大村 能琴作曲 しと。阻けゆく

| 同八時 | 〇分(東) 舞台閣 夜韶 | 同八時 | 〇分(東) 舞台閣 夜韶 | で記 | 東台閣 夜韶 | 東台閣 | で記 | 東台閣 |同七時三〇分(東)浪花節

同一〇時三〇分 勝河 少年昭建一午前七時一分(東)朝の修選 無一

オリムピック無透歌 第十一回オリム

往け、郷ゆる関連は海の外(合門)

回稿を御利止。 一十四日

九州郵船株式會社

た娘、何故か小雨にぬれ作ら、 雨の夜船の片隅で、今時初めて見

もう港内の灯火も見えなくなつた

おれたおれた歴記れた、枕、枕の

るやらピッカラチャカラ、ドンガ に夕立が張るやらピッカラチャ

東京晉頭

林地

型軍隊教科書 大賣捌所 高店 圖書部